

7月定例教育委員会

資料報告

○資料報告一覧

- 令和4年6月定例県議会の概要について（各課共通）
- 教員免許更新制度の廃止に係る教育職員免許法の改正に伴う規則改正及び廃止について（教職員課）
- 令和4年度長崎県高等学校体育大会における競技結果について
（体育保健課）

件名	令和4年6月定例県議会の概要について
概要	<p>1. 日程</p> <p>会期 令和4年6月6日～令和4年7月1日</p> <p>一般質問 令和4年6月10日～令和4年6月15日</p> <p>総括質疑 令和4年6月17日</p> <p>常任委員会 令和4年6月20日～令和4年6月21日</p> <p>2. 議案</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">原案のとおり可決・承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第69号議案（予算議案） 令和4年度長崎県一般会計補正予算（第3号）のうち関係部分 ・第85号議案（予算議案） 令和4年度長崎県一般会計補正予算（第5号）のうち関係部分 ・第86号議案（条例議案） 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例のうち関係部分 ・報告第4号 知事専決事項報告（予算議案） 令和3年度長崎県一般会計補正予算（第23号）のうち関係部分 <p>3. 一般質問、予算総括質疑における主な質疑事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育行政について ～教育長の抱負について～ （外間雅広議員） ・教育行政について （近藤智昭議員） <ul style="list-style-type: none"> ○学校の指導体制について ○離島留学制度について ○コロナ禍における子どもたちのスポーツ活動について ・教育行政について <ul style="list-style-type: none"> ～ICT環境整備に係る財政支援について～ （大場博文議員）

- ・教育行政について (久保田将誠議員)
 - 長崎式見高校の跡地
 - 教員のなり手不足の解消
- ・知事の政治姿勢 (中村泰輔議員)
- ・医療福祉について (北村貴寿議員)
- ・教育について (北村貴寿議員)
 - 不登校対策
 - 離島留学
- ・県民の安心安全について (北村貴寿議員)
- ・教育行政について ～教育長の抱負について～ (山下博史議員)
- ・伝統工芸品の振興について (山下博史議員)
- ・教育の考える力について (下条博文議員)
- ・障がい者支援 (下条博文議員)
- ・鷹島水中遺跡 (下条博文議員)
- ・公共施設の配置について (吉村洋議員)
- ・学校教育について (千住良治議員)
 - 高校教育について
 - 義務教育について
- ・教育行政について (赤木幸仁議員)
 - 新型コロナウイルス対策により2年間で失われた教育機会
 - ICT支援状況について
- ・スポーツ・文化の振興について (坂口慎一議員)

4. 文教厚生委員会等における主な質疑事項

○第69号議案 令和4年度長崎県一般会計補正予算(第3号)のうち
関係部分

- ・長崎の未来を創る ワクワク産業教育実践事業について
- ・いじめ不登校対策事業費について
- ・持続可能な地域づくりを進める地域学校協働活動推進事業費について
- ・特別支援学校のキャリア教育について
- ・ながさきデジタルライブラリー事業費について

○第85号議案 令和4年度長崎県一般会計補正予算(第5号)のうち関係部分

○第86号議案 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例のうち関係部分

- ・育児休業の取得回数制限の緩和等

○報告第4号 知事専決事項報告 令和3年度長崎県一般会計補正予算(第23号)のうち関係部分

○陳情審査 2件

○所管事務に関する質疑

- ・体罰について
- ・不登校対策について
- ・スクールソーシャルワーカーについて
- ・文理探究科の設置について
- ・大学入学共通テストについて
- ・いじめ重大事態について
- ・夜間中学について
- ・佐世保特別支援学校の増築について
- ・インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の充実について
- ・不祥事について

令和4年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

外間 雅広 議員

◇教育行政について

(1) 教育長の抱負について

- ① これまでの経験を踏まえ、どのような課題に重点的に取り組んでいこうと考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

私は、これまでの観光振興や地域づくり業務などで培ってきた経験やネットワークを生かしながら、本県の将来を担う子供たちの健全な育成のための施策に、全力で取り組む所存であります。

本県では少子化が急速に進んでおりますが、子供たちが通う学校が地元にあることで、その町は元気になりますので、特色ある教育や魅力ある学校づくりを推進することで、地域活性化につなげていきたいと考えています。現在、教育委員会内において、8つの横断プロジェクトを立ち上げたところであり、今後、子供たちが地域の魅力に直接触れる「ふるさと教育の推進」や、支援を要する子供たちへの「文化・スポーツの触れ合いの場の創出」、あるいは、教育現場のイメージアップ戦略や働きがい改革を進めることによる「教員のなり手不足の解消」など、市町や民間の皆様とも手を携えながら、これらの施策を積極的に進めてまいりたいと考えております。

- ② 昨年9月議会後の幼保小連携の取組状況と、国の動向を踏まえ、今後どのように幼保小連携の取組を進めていこうとしているのか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、小学校においては、入学する子供たちの実態を把握し、きめ細かな指導や、園と一貫した教育的支援を行っているところでございます。

県教育委員会においては、今後も、こども政策局が設置するプロジェクトチームに積極的に参画し、幼保小連携の充実に向けた取組を推進してまいります。

近藤 智昭 議員

◇教育行政について

(1) 学校の指導体制について

- ① 離島地域の学校では、GIGAスクール構想により整備された1人1台端末等のICTを活用することで特色あるカリキュラムの実施も可能となるのでは

ないか。今後の離島地域における学校の指導体制の充実についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、児童生徒1人1台端末が整備され、離島地域の学校においても、地理的制約を受けない特色ある教育活動が一層可能となりました。

県立学校においては、昨年度から宇久高校、奈留高校、北松西高校の3校が、遠隔授業の相互配信により、生徒の多様な選択科目の提供と、他校の生徒との学び合いによる学習意欲の向上等を目指して研究を進めております。

また、小中学校においては、新上五島町などの離島部と本土部の学校をICTで結び、交流を通じて学びの活性化を図るモデル校事業の予算を今議会に提案させていただいております。

これらの取組を通じて、離島の学校で学ぶ児童生徒の新たな学びの機会の創出を図るとともに、学習意欲やコミュニケーション能力等の向上に繋げてまいります。

② 県として将来的に小中高一貫教育のような形態についての検討についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、1島1高校の宇久高校、奈留高校、北松西高校がある離島地域におきましては、特例ではございますが、連携型の小中高一貫教育を行っております。

この地域では小中高の12年間を見通した教育課程の工夫や教員の乗り入れ授業により、学びの充実が図られておりまして、また、小中高の異なる年齢の集団での学校行事も通しまして、豊かな人間性や社会性も育てております。

少子化により学校が小規模化しております離島地域におきましては、小中高が連携した教育は、子どもたちの健全な育成のために有効な手段であると考えておりますので、まずは、ふるさと教育などにおきまして小中高が連携した取組が図られるよう各市町とも協議してまいります。

(2) 離島留学制度について

① 離島留学制度は地域の活性化に寄与していると考えているが、生徒の卒業後の進路を含め、これまでの実績や実施校の現在の取組についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

離島留学制度は今年で20年目となり、これまで1千名を超える入学生を迎えておりますが、各学校とも「しま」の豊かな自然の中で、韓国語や中国語、東アジアの歴史を学んでもらうなど、地の利を生かした特色ある教育活動を行ってきました。

卒業後は、在学中に育んだ語学力等を活かし、県内のホテルなど民間企業への就職はもとより、韓国や中国の大学に進学する生徒もおり、概ね離島留学のコースで学んだ専門性を生かした進路を実現しているものと考えています。

本県の特徴ある離島留学制度を更に推進するためには、教育内容の一層の充実はもとより、生徒たちが安心して生活できる環境づくりも大切であり、今後も里親の確保や寄宿舎の整備などに努めてまいります。

- ② これまで以上に離島留学制度を推進していくにあたって、現在認識されている課題解決に向けてどのように取り組もうとされているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在の離島留学生161名は、里親宅または寄宿舎から通学していますが、里親については、高齢化や成り手不足の状況にあることから、各学校や市町と協力しながら新規開拓に努めているところであり、また、要望が強い里親住居の改修費等への支援についても国に対して要望しております。

また、老朽化した寄宿舎の住環境の改善も課題となっていますが、本年度から国の離島活性化交付金の対象となったことから、この交付金を活用し、水回りや空調の改修工事に取り組んでおります。

- (3) コロナ禍における子どもたちのスポーツ活動について

- ① コロナ禍において、どのような工夫により、体育授業の充実を図っているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

コロナ禍における体育授業につきましては、各学校が、授業前後の健康観察や消毒、換気、更衣室分散などの基本的な感染症対策を徹底しながら、学習内容や実施場所等を工夫して取り組んでおります。

例えば、感染拡大時には、短距離走のレーン幅や球技のパス練習の間隔を広げたり、少人数によるゲーム、屋内種目を屋外での実施に変更するなど、3密を回避しております。

引き続き、感染症対策を徹底し、児童生徒の健やかな学びを保障してまいります。

- ② これから暑くなり熱中症の恐れもある中で、体育授業のマスク着用は、どのような方針を示しているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

全国的に学校での熱中症が発生していることを踏まえ、今月10日、国から県教育委員会に対して「登下校時」に加え、「体育の授業や運動部活動」でもマスクを外す指導を行うよう通知がありました。

これまでも、国の方針により体育の授業では、十分な感染症対策を講じたうえで、マスクの着用は必要ないとしていましたが、今回の通知では、熱中症が「命に関わる重大な問題」として、運動時における「マスク着用不要」の指導徹底が求められており、県立学校や市町教育委員会に対しても、この旨の周知を図ったところであります。

- ③ どのような感染対策や取組を行い、安心・安全な大会運営を行っているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

高体連や中体連においては、大会の感染症対策基本方針を策定し、安心・安全な大会運営に努めております。

今月3日から開催されました県高校総体におきましては、これまでの知見を生かし、健康管理シートの提出や当日の検温、選手と応援者等の動線分離、用具の定期的な消毒などを行い、全競技、保護者等入場のうえで大会を実施し、無事終了いたしました。

引き続き、県におきましては、学校体育団体等と連携を図り、感染症対策を講じながら、子ども達の「教育活動の発表の場」の確保に取り組んでまいりたいと考えております。

大場 博文 議員

◇教育行政について

(1) 小中学校におけるICT環境整備に係る財政支援について

- ・ 1人1台端末は整備できたとはいえ、ハードの入れ替えなど、財政面の負担が必要であり、今後も、県から国に対して継続的な財政措置を働きかけていただきたい。小中学校におけるICT環境整備に係る財政支援について、県はどのように考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

昨年度末までに、1人1台端末の導入やネットワークの整備が完了したものの、今後も端末の更新や通信費など、多額の経費負担が見込まれることから、国の継続的な財政措置がなければ、市町の財政運営が逼迫するのではないかという懸念の声が、複数の市町から寄せられています。

国策であるGIGAスクール構想の実現のため、国による財政措置の継続について、これまでも全国教育長協議会等を通じて要望してまいりましたが、さらに本年度は、市町の切実な意向を踏まえ政府施策要望にも新たな項目として盛り込み、強く要望することとしております。

久保田 将誠 議員

◇教育行政について

(1) 長崎式見高校の跡地

- ・ 長崎式見高校の跡地は有効な活用策が見いだせないまま、廃校から14年が経過し、校舎等の老朽化や防犯上の懸念もあり、地元の方々も今後どうなるのかを心配している。長崎式見高校の跡地について、県は今後どのようにしていくのか、見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

長崎式見高校の跡地については、これまで県や長崎市をはじめ、地元自治会も交えながら検討してまいりましたが、今のところ、有効な活用策はありません。

このため、今年度は土地の確定測量や不動産鑑定評価を行ったうえで、来年度以降、売却に向けた手続きを進める予定としております。

一方で、当該跡地は素晴らしいロケーションにあることから、コロナ禍における働き方の変化に対応したワーケーション施設や、近年、盛り上がりを見せるアーバンスポーツ施設など、新たな価値を生み出す活用策も考えられますので、関係部局とも連携しながら、このような事業を実施する企業等への情報提供などの働きかけを行ってまいります。

(2) 教員のなり手不足の解消

- ・ 長時間労働が教員のなり手不足の大きな要因であることについての見解と、解消に向けた取組についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、学校の「働き方改革」に取り組むことで、教員の長時間労働は減少傾向にあります。これからは、学校だけではなく、様々な団体との連携や、民間等へのアウトソーシングの中で、教員の分業化を進めていくことが重要であると考えています。

その際、労働時間を減らすだけではなく、その分、子供と向き合う時間や授業野質を高めるための時間を生み出し、教師自身が「働きがい」を実感できるようにしていく必要があります。

さらに、教職のマイナスイメージばかりが報道等で先行する中、子供たちの教育に懸命に取り組む多くの教師の姿にも光をあて、教職の魅力を積極的に発信するなど、

様々な視点から教員のなり手不足の解消に繋げる取組を進めてまいりたいと考えております。

中村 泰輔 議員

◇知事の政治姿勢

(1) 子育て政策、人口減少対策について

① 教育先進県としてのA Iドリル導入について

- ・ A Iドリルの価値や有用性を保護者に伝えたいが、A Iドリルの活用や、その良さについて、保護者の理解を得るためにはどうすればよいとお考えか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

今年度新たに、離島部と本土部の小中学校をモデル校として指定し、A Iドリルを活用した自主的な学習を充実させることで、子供たちの学力向上を図ってまいりたいと考えています。

本事業において設置される協議会には、P T A関係者にも委員として加わっていただき、保護者の視点からモデル校の取組についてのアドバイスをいただくこととしております。

この事業によって得られたA Iドリルの有効性や活用方法については、「これからの時代の学校外での学習の在り方」としてリーフレット等にまとめ、学校や保護者に広く周知してまいりたいと考えております。

- ・ A Iドリルの活用について、21市町の連携を今後どのように図っていかうと考えておられるか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、県が設置した「G I G Aスクール推進サイト」において、A Iドリルの活用に関する県内小中学校の実践事例や、全国の優れた先進事例を随時掲載しており、各市町に活用していただいております。

また、G I G Aスクール構想の実現を図るために、全市町の教育委員会が参画した「情報化推進協議会」を設置しておりますので、今後はA Iドリルの効果的な活用についてもテーマとして取り上げ、市町と情報交換を進めてまいりたいと考えています。

北村 貴寿 議員

◇医療福祉について

(1) 特農連携（特別支援学校と農業が連携した就労支援）

- ・ 特別支援学校と農業が連携した就労支援の現在の取組状況についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

特別支援学校のキャリア教育の一環としまして、農業分野への取組に力を入れており、10年間で60名を超える卒業生が農業関係の仕事に就いております。

また、農作業の実習に加え、企業側が求める販売や発送に必要な事務作業を習得する教育の充実も図っているところであります。

一昨年、事務作業の能力レベルがわかる県独自に開発した検定を導入いたしましたので、この制度を活用することで、企業側の採用意欲を高め、更なる就労先の確保に努めてまいります。

◇教育について

(1) 不登校対策

- ・ 不登校児童生徒の支援のため、今後県としてどのような取組を行っていくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

不登校支援の中核を成すスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、国に対して、配置充実のための財源確保や定数化を強く要望しているところです。

また、今年5月に、有識者等から成る「長崎県不登校支援協議会」を新たに発足させており、幅広い議論を踏まえながら、より実効性の高い対策を講じてまいりたいと考えています。

その一つとして、県立美術館等での芸術作品の鑑賞などを通して、不登校児童生徒の感性を刺激することで、自立につながる段階的な支援についても今後検討してまいります。

(2) 離島留学

- ・ 新たな環境で挑戦しようとする離島留学生に対して、学校がサポートする体制はどうかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

離島留学実施校では、中学校の時に学校になじめなかった生徒や様々な不安を抱えて生活している生徒もいます。

このような生徒を支援するために、教員やスクールカウンセラー等を手厚く配置し、地域の方と一緒に離島留学生の生活を支えており、多くの生徒たちは、周囲への感謝の思いと自らの成長を感じながら卒業していきます。今後も親元を離れて生活する離島留学生が、安心して充実した学校生活を送ることができるようサポート体制の充実に努めてまいります。

◇県民の安心安全について

(1) ライフジャケット着用の推進

- ・ 県教育委員会として、水難事故防止のため、ライフジャケット着用の啓発にどのように取り組んでいくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

これまでも夏休み前には各学校に対して、危険箇所における遊泳の禁止や泳ぐ前の体調管理などを通知して、児童生徒への指導の徹底を図っているところです。

今年度からは、水難事故防止に有効なライフジャケットの活用につきましても、この通知に盛り込むこととしており、一層の事故防止に努めてまいりたいと考えております。

山下 博史 議員

◇教育行政について

(1) 教育長の抱負について

- ・ 県政上の重大な課題の1つである人口減少問題に対して、ふるさと教育に取り組まれていると思うが、ご自身の経験を活かして、今後どのように取り組んでいこうとされているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

私は、これまで、観光行政に長く携わってきましたが、この経験は「ふるさと教育」にも生かせると思っております。

特に、コロナ禍の観光施策で、県民の皆様に県内での家族旅行や修学旅行を通じて、本県の魅力を「再発見」いただきましたが、改めて長崎ならではの歴史や文化、自然環境や食などの素晴らしさを、教育行政の立場から、子供たちの記憶と心に留めるような仕掛けづくりを検討してまいります。

また、県全体が100年に一度と言われる大きな変革期を迎える中、私がこれまで携わってきた観光業をはじめ、各産業の人材ニーズが急速に多様化しつつあると感じており、子供たちに、各地域や産業界がどのような人材を求めているのかを知ってもらい、小中学校段階から高校卒業後の出口を意識させる教育についても必要であると考えております。

今後とも、生まれ育った地域のことが好きになり、将来の自分がそこで果たす役割に思いを馳せるような子供たちが増えていくように、市町や民間の皆様とも連携しながら、より厚みのある小中高一貫した「ふるさと教育」を展開してまいりたいと考えております。

◇伝統的工芸品の振興について

(1) 三川内焼と佐世保独楽の振興について

- ・ 小学校での学習の中に伝統的工芸品を学ぶ機会をもっと広げていただきたいが見解はいかがか。

(教育長答弁)

佐世保市の多くの小学校では、生活科の学習の中で、佐世保独楽を使った遊びを体験しており、中には地域の高齢者の方々を学校に招き、子供たちに遊び方を教えていただいている学校もあると聞いております。

遊びを通じて、子供たちが郷土の伝統的工芸品への愛着を深め、地域の方々と触れ合うことのできる意義深い学習であり、今後、小学校におけるふるさと教育を検討していく中で、参考にさせていただきたいと思っております。

下条 博文 議員

◇教育の考える力について

(1) 新学習指導要領の実施

- ・ 学習指導要領の改訂や高大接続改革が行われているなかで、学びの質を高めていくために、本県の高等学校においては、どのような方針のもと教育実践が行われているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県立高校においては、生徒が変化の激しい時代に対応しつつ、未来の社会を創造できるよう、従来の知識や技能に重点を置いた学びに加え、自ら課題を見つけ、解決に向けて取り組む、探究的な学びの導入に努めているところであります。

具体的には、これまでのような教員主導の学習だけではなく、1人1台端末も活用しながら、生徒自身が自分の関心に基づいて主体的に学んだり、生徒どうしが議論を交わして学びを深めたりできるよう、また、時に教員がサポート役となって、生徒の意欲や能力を高める授業に取り組んでまいります。

(2) 文理探究科の設置

- ・ 文理探究科は今後の長崎県を担う人材を輩出する学科になると非常に注目しているが、どのようなねらいで設置され、どのような人材を育成しようとしているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

来年度より県立高校5校に設置します文理探究科のキャッチコピーは、『ふみだせ！正解のない世界へ～新しい大学進学アプローチ「普通科+α」～』としております。この学科は、自らが設定した課題の解決に向けて、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、実社会での問題解決力を養うための学びが大きな特色となっております。

近年の大学入試は、学力検査だけでなく、高校時代に取り組んだ課題研究の内容や実績などを総合的に評価するようになってきておりますので、文理探究科におきましてはこれら多様な入試制度に幅広く対応できる学科としまして、今後、文系や理系の枠にとらわれない探究的な教育を実践しまして、それぞれの高い進路目標の実現に繋げることで、ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーを育成してまいりたいと考えております。

◇障がい者支援

- ・ 特別支援学校に通学する医療的ケア児のスクールバス利用について、保護者から要望があっているが、県としてどのように考えているか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

特別支援学校に通学する医療的ケア児のスクールバス利用につきましては、乗車中のケアの必要性に応じて利用できるかどうかの判断をしております。

乗車中にケアが必要になると想定される場合には、動いている車内でのケア実施の危険性、また、緊急時の駐車場所の確保の困難さなどから、県の専門家会議の指摘を踏まえまして、原則として利用できないということを保護者の皆様にはご説明させていただいております。

なお、スクールバスに乗れずに自家用車で通学する方に対しましては、国や県から通学費の補助による支援を行っているところでございます。

◇鷹島水中遺跡

- ・ 県は国に対して、どのような働きかけをし、県としてどのような対応をしてきたのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県では、現地鷹島に調査研究施設を設置することなどを、平成24年から政府施策要望として、また平成27年からは、重点項目に位置付けて国に要望しております。昨年度からは、全国の大学生等を対象とした水中考古学の体験講座を開催するなど、鷹島水中遺跡の知名度向上に向けて取り組んでいるところでございます。

吉村 洋 議員

◇公共施設の配置について

(1) 県立世知原少年自然の家について

- ・ 世知原少年自然の家の廃止について、財政状況のみをもって進めるべきではなく、その役割や地元住民の意向も考慮し今後も存続させるべきと考えるが、現在の検討状況を伺いたい。

(教育長答弁)

様々な地元の方のご意見をお聞きしておりますので、施設のあり方について十分今後検討してまいりたいと思っております。

千住 良治 議員

◇学校教育について

(1) 高校教育について

- ① 成年年齢引き下げにおける学校教育の現状と今後の取り組みについてどのようにしていくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

成年年齢引下げにより、親の同意がなくてもローン等の契約が可能になるなど、一人の大人として責任ある行動が求められるため、高校段階において正しい知識と判断力を養うことは極めて大切なことだと思っております。

これまで消費者教育につきましては、消費生活センターと連携しつつ家庭科や公民科の授業で実施してきましたが、特に今後、契約等にかかるトラブルが、高校生にとっても身近な問題となってくると思っております。これからの取組といたしましては、夏休みを前に、3年生を対象とした指導の場を新たに設けたり、保護者に対しましてはPTA研修会や学校の広報など様々な機会をとらえ、生徒たちの消費者トラブルについての理解と啓発に努めてまいります。

- ② 県立高校における魅力ある学科再編や地域人材育成についてどのように取り組んでいくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

「STEAM教育」においては、本県におきましても、県立高校5校に「文理探究科」を設置いたしますが、この学科でも同様に、文系・理系の領域にとらわれず、様々な学びを融合させて、実社会での課題解決能力を養うことで、科学的な思考、あるいは国際性を備えた人材を育成したいと考えております。

また、地域が求める人材をどのように育成すべきかについては、今、各地の学校訪問にあわせ、各市町を訪問して、首長等と意見交換を行っているところでございます。そうした中で、地元の市町などと県立高校の担うべきビジョンの共有を図り、地域の活性化にもつながるような学科再編、あるいは新たなカリキュラムの導入について検討してまいりたいと考えております。

- ③ エアコン設置に伴う保護者費用負担についての検討状況についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県立高校の普通教室への空調整備については、本年度中に未設置校への設置工事を完了し、来年度からは設置校を含めた全ての高校の空調使用にかかる電気代や設備のリース代といったランニングコスト、そして、老朽化に伴う設備の更新費用を県が負担することとしており、保護者に費用負担を求めることはありません。

また、これらにかかる経費については、現在、各校の設置状況等を調査しているところでありますが、概ね年間1億8千万円程度を見込んでおります。

(2) 義務教育について

- ① 小学校高学年における教科担任制について現況と課題について
- ・ 本年度からスタートした小学校高学年における教科担任制について現況と課題をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

通常、小学校では、学級担任が全ての教科を指導しておりますが、英語や理科など一部の教科については専科教員による指導や、学級担任どうしの授業交換による指導などの工夫をしながら教科での担任制を取り入れているところであります。

教科担任制には、専門性の高い教科指導が期待できることや、学級担任の負担軽減につながり子供と向き合う時間を生み出すなどの効果がある一方、人材不足により、今後専科教員をどう確保していくかということが最大の課題であります。

- ・ 特に英語教科において中学校教員の活用や、民間活用を図るなど、積極的な取組をお願いしたいが、県の見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

本県においても、中学校英語科教員18名、英語に堪能な外部人材2名を英語専科として小学校に配置しているところではありますが、さらなる配置の拡大が必要な状況にあると思っております。

今後も、様々な手立てを講じながら人材の確保に努め、教科担任制の推進に向けて取り組んでまいります。

② 部活動の地域移行についての内容と今後のスケジュールについてお尋ねしたい。

- ・ 部活動の地域移行について、今後、どのようなスケジュールで取り組みがなされるのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

国におきましては、先般、令和5年度から3年間を目途に、まずは、休日の運動部活動から、段階的に地域移行していくという方針が示されております。また文化部活動につきましても、今年の7月に提言が取りまとめられることとなっております。

本県におきましては、長与町が先行して、令和3年度から国のモデル地区指定を受け、町内3中学校と地域スポーツクラブの連携による実践研究を進めておりまして、その成果や課題を整理して、各市町等と情報交換を図っているところでございます。

今後は、国からの支援策など、具体的な制度設計が示され次第、地域移行に向けた推進計画の策定に取り組んでまいります。

また、今後の地域移行を見据えまして、来年度の全国中学校体育大会につきましても、学校単位に加えて、地域のスポーツ団体等の出場も可能にするということになっていると聞いております。

- ・ 部活動の地域移行は、様々な課題が考えられるが、本県においてどのような課題があり、現時点でどのような対応を考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

地域移行における課題は様々あると思っております。運動部、文化部、共通すると思いますが、受け皿となる団体の整備や充実、指導者となる人材の確保、また保護者の費用負担への対応等が課題になってくると思っております。特に文化部におきましては、楽器の運搬や確保なども挙げられているところでございます。

今後、これらの課題を踏まえまして、市町、学校、地域団体、外部指導者のみなさんとも連携しながら、各地域の実情に応じた、様々な地域移行のモデルを検討してまいりたいと思っております。

- ・ 地域移行を進めるにあたり、指導者の確保には、人材バンクが必要だと考えるが、県の見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

我々も、この地域移行を円滑に進めるためには、指導者の確保が極めて重要な課題であると認識しております。

現在、県下の実態を十分把握したうえで、文化・スポーツ団体、プロスポーツチーム、大学、退職教職員などの関係者とも協議しながら、人材確保のための協力体制について、検討を進めていく必要があると考えております。

- ・ 地域移行になれば、生徒の活動は、学校から社会教育として行われることになる。様々なトラブルや事故等の相談窓口が、学校にならないようなシステムが必要だと考えるが、県の見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、国におきましては、部活動が地域に移行した場合の生徒の安全等に係る管理責任を含めたガイドライン改定に向けた検討が進められているところでございます。

今後、国が示す考え方を踏まえまして、現在は学校が担っている怪我等の緊急対応、あるいは指導方法の苦情やパワハラ・セクハラといった、様々なトラブル対応の窓口のあり方につきまして、市町教育委員会と一緒に検討してまいりたいと思っております。

- ・ 国からの指針を待つのではなく、先に長崎モデルをつくる必要があるとあり、また、県の在り方検討委員会に外部指導者を入れるべきだと思うが、県の見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

特に本県においては、離島や半島を多く有しますので、各地域の特性や課題も異なると思っております。様々な地域移行のモデルは必要だと思っており、可能なものは国に先行して早急に検討して、市町教育委員会にも示してまいりたいと思っております。

「長崎県部活動の在り方検討委員会」につきましては、昨年度から外部指導者の方も会議に入ってもらおうようにしておりますので、しっかり意見も汲み上げていきたいと思っております。

③ コミュニティ・スクールの導入推移と課題についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

本県においては、平成27年度からコミュニティ・スクールの導入拡大に取り組み、当初は県内1校のみであった導入校も、昨年度末で20市町70校となり、今年度末には、全市町91校にまで拡大する予定になっております。

今後、コミュニティ・スクールを拡大していくためには、学校任せにするのではなく、行政の適切な指導や支援により、導入校がこれまで以上に成果を実感できるようにしていく必要があると考えており、県では、昨年度から市町教育委員会の研修の場を継続的に設定するなど、コミュニティ・スクールの支援体制の充実に努めているところであります。

④ 優秀な人材を確保するための取り組みについて

- ・ 本県においては、教員採用試験において、教員免許を持たない優秀な人材を確保するために、どのような取り組みを行っているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

本県におきましても、教員不足を補うため、病院勤務の看護師を高校の看護科の教諭として採用する際などに、特別免許状を活用してきましたが、令和2年度の募集からは、採用が困難な家庭科や農業、工業などの教科にも特別免許の適用範囲を広げたところです。

また、今年度の募集から、英語教諭については、一定の英語力を有していれば、教職課程を履修していない大学生も臨時免許状での採用を前提に、受験可能としたところでございます。

今後も採用試験の在り方を見直しながら、専門的な知識や経験・技能を有した優れた人材の確保に努めてまいります。

- ・ 教員採用試験の年齢制限が撤廃されたことにより、受験可能となった50代の新規採用者がどのくらいいるのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

昨年度実施の教員採用試験から、すべての校種・職種で年齢制限を撤廃したところ、合格者471名のうち、50歳以上は25名おりました。

赤木 幸仁 議員

◇教育行政について

(1) 新型コロナウイルス対策により2年間で失われた教育機会

① 修学旅行の実施状況について

- ・ 子供たちにとって修学旅行は、とても有意義な教育活動であると考えますが、令和2年度、令和3年度のコロナ禍における実施状況についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

令和2年度に修学旅行を実施した学校の割合は、小中学校84パーセント、県立高校33パーセントであり、令和3年度は小中学校96パーセント、県立高校70パーセントであります。

新型コロナウイルスの感染状況により、実施の判断が難しい状況でありましたが、それぞれの学校において、県外から県内への方面変更や感染症対策の徹底などの工夫を講じたことにより、令和2年度よりも令和3年度の実施校が増加したものと受け止めています。

なお、県内修学旅行を実施した学校からは、児童生徒や教職員が改めてふるさとの魅力を発見する貴重な機会になったと伺っています。

② 実施できなかった学校の対応

- ・ コロナ禍であっても、感染症対策を講じながら、修学旅行を実施していると聞いているが、やむを得ず延期や中止となった学校は、どのような対応をしたのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

修学旅行をやむなく延期や中止をしたほとんどの学校においては、学校や地域の感染状況等に応じて、校外学習や日帰りのバスハイク、校内でのレクリエーションなど、修学旅行に代わる行事を設定し、児童生徒の成長や仲間との思い出作りに繋がる教育活動を実施したと承知しております。

③ 今後の修学旅行の実施について県はどのように考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

学校において児童生徒は、教科の学習だけではなく、様々な行事を通じて、学校生活への意欲を高め、学級や学年の集団の繋がりを深めながら大きく成長していきます。

特に、修学旅行は、子供たちが最も楽しみにしている学校行事の一つであり、学校を離れ、日常と異なる環境で見聞を広め、自分や仲間の新しい姿を発見し、その後の学校生活を充実させる意義深い教育活動であると思っております。

新型コロナウイルス感染症の影響がいまだ懸念される状況ではありますが、今後も、各学校において感染対策を十分に講じながら、できる限り修学旅行を実施することが望ましいと考えております。

(2) ICT支援状況について

- ① 小中学校や県立高校で端末が導入され、現場負担が偏っているとの声もある。現在の学校や教員への支援状況についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

1人1台端末の導入期において、教員に生じる一定の不安や負担の軽減を図る必要があると考えております。そのため、県立高校や小中学校においては、民間事業者に委託した相談窓口の設置やICT支援員の配置等による技術面での様々なサポートを行っております。

また、県教育委員会では、授業における端末の効果的な活用や、業務の効率化を図る活用などの、県内の優れた事例を集めたWebサイトを運用し、教員の取組を支援しております。

今後も、現場の教員の声をしっかり聞きながら教員支援の充実に努め、ICTを有効に活用することで教員が児童生徒に向き合う時間を確保し、より質の高い学びの実現を図ってまいります。

- ② 県立高校では昨年端末を導入したが、どれくらい端末が故障・破損し、費用がかかったのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

昨年度、県立高校に1人1台端末約2万5千台のパソコンを導入しましたが、そのうち、故障・破損した状況は、授業中の机からの落下、あるいは移動中の衝撃により画面が割れるなど合計207台で、修理に要した経費は約600万円となっております。

端末の取り扱いについては、これまでも、校長会等を通じて注意喚起を行ってまいりましたが、改めて、机にストッパーを取り付けるなど落下防止策を徹底させるとともに、最善の注意を払って取り扱うよう指導してまいります。

坂口 慎一 議員

◇スポーツ・文化の振興について

(1) スポーツ合宿施設の整備及び合宿費等の助成について

- ① スポーツ合宿施設及び合宿費等の助成について、現状ではどのような支援があるかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、県におきましては、特に経済的負担が大きい離島地区の生徒に対し、県内の主要大会への出場に係る交通費や宿泊費の半額までを助成しております。

また、長崎県スポーツ協会が旧県立女子短期大学の寮をスポーツ合宿所として、安価に提供しており、主に離島地区の高校生が大会等の際の宿泊に利用しております。

- ② 県民が安価で利用できる合宿施設を県央地域に整備できないかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県民が安価で利用できる合宿施設を県が新たに整備することは、近隣の民間宿泊施設に大きく影響を与えることに加え、本県の厳しい財政状況を踏まえると困難であると考えております。

(2) 地域伝統芸能の継承について

- ・ 地域伝統芸能の継承について、学校との連携などの取組ができないかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

本県では、地域の踊りや太鼓などの伝統芸能を活用した学習が多くの学校で実施されており、例えば、人形浄瑠璃や浮立を伝承する方々の思いに触れた中学生が、後継者不足の解決に向けた探究的な学習に取り組む事例も生み出されております。

今後は、令和7年度の国民文化祭の開催を見据えて、学校と地域が連携したふるさと教育を推進する中で、地域伝統芸能に関する学習の重要性を県内に広げ、その取組の充実を図ってまいります。

【議案】

□ 第69号議案「令和4年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」のうち関係部分

□ 第85号議案「令和4年度長崎県一般会計補正予算（第5号）」のうち関係部分

→ 可決

□ 報告第4号 知事専決事項報告「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第23号）」のうち関係部分

→ 承認

□ 第69号議案「令和4年度長崎県一般会計補正予算（第3号）」のうち関係部分

・長崎の未来を創る ワクワク産業教育実践事業

（松本洋介委員）

先端分野の企業へ教員を派遣するなど今までにない試みの事業だが、先端企業へ派遣することで具体的に教員が何を学んで、この事業が県内の教育にどう影響していくのか。

（高校教育課長）

1つ目の柱としては、長崎にある産業の先端企業について、まず教員がしっかりと学ぶことである。変化の激しい時代の中で長崎にも素晴らしい企業があるということを経験し、2週間の研修期間の中で学び、授業でも紹介し、また、企業の方が講師となって生徒に講義を行い、そういう授業の中でワクワク感を醸成させたり、次の新たな学びに繋げたりということを考えている。

2つ目の柱として生徒対象の事業を予定している。農業・工業・商業の専門高校がそれぞれの分野の学習を行ってきたが、社会の大きな課題に対して、これからは専門高校の枠を取り払い、それぞれが協力しながら課題解決に努めていくことで本県産業の振興に資する産業人材を輩出していきたい。

（松本洋介委員）

先端技術を教員が学んで、どう教育に落とし込んでいくかが大事。最先端のものをいかに教材として生徒がかみ砕いて理解し、主体的な学習に結び付けていけるように、しっかり取り組んでもらいたい。また、農・工・商の連携ネットワークは重要であると思う。連携できる体制づくりも必要だと思うが、生徒に対してどこまでを求めているのか。

（高校教育課長）

具体例を挙げると、農業高校の草花の栽培実習の中で、植物の水分の含有量を測る計測器を工業高校に開発してもらい、それを農業高校での栽培実習に活かすなど、実際に農業と工業のコラボレーションの事例もあり、教員の組織体制も構築しながら事例の積

み重ねを行っていききたい。

・いじめ不登校対策事業費について

(松本洋介委員)

依然として、いじめや不登校が大きな課題となっている中で、教育相談体制の一層の充実を図るために研修会を実施するとのことであるが、具体的な方法は。

(児童生徒支援課長)

スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーについては、現在職種ごとの研修会を実施しているが、コーディネーターである教員を含む3者の連携を確認するような研修の場がこれまでなかった。今回、3者合同の研修会を開催することで、いじめ解消や不登校支援の成功事例をしっかりと共有するとともに、「チーム学校」としての連携の在り方についてグループワークを通し議論を深めることで、教育相談体制の充実を図っていききたい。

(松本洋介委員)

一堂に集めるとなると、かなりの人数となり、また、コロナ禍でもあるが、どのような方法で実施するのか。

(児童生徒支援課長)

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及びコーディネーターを合わせると500名程度の規模となることから、オンラインの活用を検討していく。

また、ベテラン職員と若手職員を1つのグループに編成するなどにより、研修の効果を高めていきたい。

(坂本浩委員)

これまで、3者合同の研修会がなかったということは、そもそもいかがかと思う。今回、補正予算で計上することとした理由を教えてください。

(児童生徒支援課長)

もっと早く、3者合同での研修に取り組むべきであったとの思いもある。これまでも、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの研修については年3回程度行ってきたが、それぞれの職の相互の連携が特に重要であるとの認識のもと、今回チームでの研修を充実し、不登校児童生徒やいじめへの対応の強化充実を図っていくこととした。なお、この研修会については、今後も継続していきたい。

(坂本浩委員)

スクールカウンセラーについては、学校に1人配置が必要だと考えているので、配置人数を増員していくことについても、並行して努力して欲しい。

・持続可能な地域づくりを進める地域学校協働活動推進事業費について

(松本洋介委員)

地域学校協働活動推進事業費について、地域学校協働本部の意義・役割とはどのようなものか。

(生涯学習課長)

地域におけるつながりの希薄化等が課題となっている。幅広い地域住民等がネットワークを形成することで、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、持続可能な地域づくりを推進するため、各市町における地域学校協働本部の整備を支援して、地域学校協働活動の更なる推進を図っていく事業である。

(松本洋介委員)

地域未来塾の具体的内容についてお尋ねする。

(生涯学習課長)

地域未来塾は、中学生を対象とし、地域住民の協力を得て、学習支援や相談など、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動である。本事業は、地域における人と人とのつながりがさらに深まっていったり、地域住民と子ども、地域住民同士がつながるきっかけにもなると思っている。

(松本洋介委員)

これは経済的な理由で学習塾に行けなかったり、不登校で学習が遅れていたりと、さまざまな課題がある際に、このような学習支援の事業を地域で行うことで非常に大きな効果があると思う。

・特別支援学校のキャリア教育について

(宮本法広委員)

特別支援学校のキャリア教育については、非常に大事な取組であると認識している。

これまでも、特別支援学校において、就労先の拡大や就労率を上げるための取組をしてきたと思うが、今年度の取組において、これまでの取組と違うものがあれば、教えてほしい。併せて、特別支援学校の就職の状況について聞かせてほしい。

(特別支援教育課長)

特別支援学校高等部卒業生の進路のニーズとしては、就職のほか、大学等進学や福祉施設の利用がある。

その中で、就職希望者は例年、100名程おり、そのほとんどが就職をしているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実質的な就職試験となる職場実習が中止又は延

期となり、企業側から年度内に採用の判断が得られなかったケースがあった。

今回、補正予算では、職場実習以外にも企業の日常的な学校見学又は企業フォーラムを実施することで、生徒の働く力を見ていただく機会を増やし、就職を希望する生徒の確実な進路実現に繋げたい。

・ながさきデジタルライブラリー事業費について

(宮本法広委員)

ながさきデジタルライブラリー事業の事業内容についてお尋ねする。

(生涯学習課企画監)

県立図書館における電子図書館システムの導入と、郷土資料のデジタル化を図るものである。

(宮本法広委員)

電子書籍の購入については、どれくらいの予算を計上しており、何冊ぐらいの購入を予定しているのか。

(生涯学習課企画監)

選書についてはこれから実施していくが、予算1,000万、およそ1,000冊の購入を予定している。

(宮本法広委員)

図書館に来館しなくとも、スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使えば、離島の方等も利用することができるのか。また事業開始はいつごろを予定しているのか。

(生涯学習課企画監)

そのとおりで、離島・半島など図書館に来館が難しい県民の方や、子育てや仕事で忙しく開館時間内に図書館に来館できない方が、スマートフォン等の端末から資料の閲覧が可能になる。予算成立後速やかに準備にとりかかり、来年2月中にはサービスを開始したいと考えている。

「文教厚生委員会」での教育委員会関係の主な概要

【議案】

第86号議案 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例のうち関係部分

→ 可決

【陳情審査】

- 陳情番号17 「要望書」(松浦市)
- 陳情番号19 「令和5年度 県の施策等に関する重点要望事項」(佐世保市)

**・ 陳情番号17 「要望書」(松浦市)
(鷹島神崎遺跡の保存と活用について)**

(宮本法広委員)

5月23日の松浦市からの要望とは別に、6月6日に松浦市歴史観光推進協議会から要望があったと聞いている。どのような要望内容だったのか、市からの要望との違いも含めてお尋ねしたい。

(学芸文化課長)

6月6日の松浦市歴史観光推進協議会からの要望は、市の商工会議所、文化協会、物産協会等を構成員としており、鷹島神崎遺跡を地域経済活性化につながる資源として活用したいという要望経緯(前文)のもと、「水中遺跡保護に関する組織・部署を九州国立博物館に設置すること」や「松浦市鷹島に専門調査機関を設置すること」など、市と同じ6項目の内容であった。

**・ 陳情番号19 「令和5年度 県の施策等に関する重点要望事項」(佐世保市)
(県立武道館の機能拡充について)**

(宮本法広委員)

県立武道館の機能拡充について、仮に遠的用の競技施設を整備するならば、費用はどれくらいかかるか。

(体育保健課長)

仮に新たに整備するとなると、1億3千万円程の整備費用がかかると見込んでいる。

(宮本法広委員)

財政状況を踏まえると困難であるということだが、佐世保市からはずっと要望が来ている。今後、佐世保市と意見交換等を行う予定はあるか。

(体育保健課長)

県内の高校生を除く弓道の競技人口は368人で県北地域だと64人である。大会については、国民体育大会と有段者で5段以上の方が出場できる全日本弓道遠的選手権に限られる。県内の遠的競技用施設については、長崎市、島原市、大村市に市営の弓道場があり、大村市の弓道場が選手強化の拠点となっている。さらに、既存の体育施設の改修が急務となっており、そちらの対応が必要である。

このような状況について、今後、佐世保市と協議していきたい。

【議案外】

□ 体罰について

(饗庭敦子委員)

令和3年度に体罰により懲戒処分を受けた者のうち、3人が過去も体罰で指導を受けているということだが、どのような再発防止策に取り組んでいるのか。

(高校教育課人事管理監)

該当の教職員に対しては、1年間の計画を立て管理職による年3回以上の面談をすることになっている。自分を見つめ直して人権意識を高め、生徒との信頼関係を築く方策、生徒に対しての心にせまる指導をしっかりとできるよう、年3回レポートを提出することとしており、体罰によらない指導に取り組んでいくということで義務付けている。また、県教育委員会が実施をしているアンガーマネジメント研修への参加も義務付けており、加えて、過去に体罰をした教職員が在籍する高校には、校長にその情報を提供し、把握をした上で個別の面談等を行い、指導を徹底するようお願いしているところである。

(饗庭敦子委員)

体罰を受けた生徒に対するその後のフォローはどうしているのか。また、体罰を受けた生徒が不登校につながるということにはなっていないのか。

(高校教育課人事管理監)

寄り添った指導を心掛けており、生徒に異変があれば、担任による面談やスクールカウンセラーへの相談でメンタル面のフォローをしているところである。また、高校では不登校につながった事例は把握していない。該当生徒については、見守り続けながら通常の生活ができるように各学校で工夫をしているところである。

□不登校対策について

(前田哲也委員)

不登校対策について、各市町との連携状況についてどうなっているのか。

(児童生徒支援課長)

21市町のうち14市町で設置されている教育支援センターと不登校からの復帰事例や好事例を共有するとともに、各市町の生徒指導主事が参集する協議会において意見交換や情報交換をしながら対策を講じている。

□スクールソーシャルワーカーについて

(前田哲也委員)

長崎市が雇用するスクールソーシャルワーカーは、県で雇用する者と比べ賃金など雇用条件が厳しく、また、かけもちの学校数も多いなど、待遇面の問題から辞める方が多

いという話を聞く。また、私立学校ではスクールソーシャルワーカーに相談する場合、家庭から相談料を徴収しているケースもあると聞いている。

所管部局は異なるだろうが、まずは実態調査をしたうえで、スクールソーシャルワーカーが働きやすい環境を整えることが必要ではないか。

(教育次長)

いじめの根絶などに向け、スクールソーシャルワーカーの役割は大きいことから、県としても、まずは、市町や私立学校での雇用の実態把握に努めてまいりたい。

□ 文理探究科の設置について

(松本洋介委員)

文理探究科の設置目的について伺いたい。

(県立学校改革推進室長)

高大接続改革により、学力検査だけでなく、高校時代に取り組んだ課題研究の内容や実績などを総合的に評価する入試方法へ移行しており、これらに幅広く対応できる学科として、県立高校5校に文理探究科を設置する。文理探究科では、外部機関と連携した探究学習や、高いレベルの授業を通して、大学の学びにつながる資質・能力の育成を図ることで、生徒の高い進路目標を実現させ、ふるさと長崎や世界の未来を拓くリーダーの育成を目指している。

(松本洋介委員)

現状の理数科4.0名でも定員割れしている高校が多い中、さらに多い80名の募集定員で果たして生徒が集まるのか。

(県立学校改革推進室長)

中学校の段階では理数科への進学を決断できない生徒が多いと聞いている。文理探究科では、2年次から理数探究、国際探究のいずれかを選択でき、それぞれに軸足を置きながら教科横断的な学びに取り組んでいく。こうした学びが、変化の激しい社会の中で生きる力としてしっかりと身に付ける必要があることを中学生や保護者にしっかりと伝えて、多くの中学生に志願してもらえよう努めたい。

(松本洋介委員)

少子化により高校の定員割れが進むと、地域に残る人材も少なくなるため、定員割れへの対応が重要である。文理探究科についても、オープンスクール等で強くアピールしなければ伝わらないと思うがいかがか。

(教育次長)

文理探究科の設置は時代の要請という面もある。これまでは、正解にいかに早くたど

り着くか、そのためにいかに多くの知識を詰め込むかが優秀である物差しであったが、これからは求められる能力が変わってくる。今後どういった人材を育成すべきか学校とも思いを共有して、今なぜ探究的な学びが必要なのか伝えていきたい。

□ 大学入学共通テストについて

(松本洋介委員)

今年度の高校1年生が受けることになる令和7年度の大学入学共通テストにおける変更点は。

(高校教育課長)

大学入学共通テストについては、現在5教科7科目が科されているが、令和7年度では6教科8科目が科される予定になっている。1教科1科目増えた部分については、新たに今年度から学んでいる情報の科目であり、情報の科目における変更点はプログラミングの領域が入ってきたことが大きな変更点である。これまでより専門的な知識が必要になってきたということで教員の指導力向上も不可欠であり、高校教育課としては昨年度から県立大学の情報システム学部と連携して情報エキスパート教員養成研修を実施しており、オンライン型とオンデマンド型の組み合わせにより、それぞれのレベルや業務の都合に応じた研修ができるように工夫をし、大学入試レベルの授業ができるように対応しているところである。また、社会については、公民で新たに公共という科目、地理・歴史については、日本史探究・世界史探究・地理探究という形で課題解決に向けて様々なグラフや資料、統計などを組み合わせていきながら、問題の中でどのようなものが課題なのか、解決するためにはどのような方法があるのかなど、より課題解決型の問題が出題されると聞いている。

(松本洋介委員)

社会の科目に探究が入り、それに対応した教育メニューを入れていかないといけないということで、文理探究科が目指す教育カリキュラムは時代に合っていると思う。しかし、このことが中学生やその保護者に伝わっていないところがあるので、説明をしっかり行って、詰込みの暗記でなく、統計的なものから主体的に課題を解決する能力が必要になってくることも伝えることによって文理探究科に対する希望者も増えることにつながると思うがどうか。

(高校教育課長)

これまででは高校で学んできたことが実社会の中でなかなか繋がっていないと指摘されてきた。変化の激しい時代の中で課題を見つけ、日々の学習に関連付けていくということは大切であり、そういった中で探究というものが新しい学びだということについては、学校訪問の中で学びの必要性について指導していきたい。6月補正として計上したグローバル人材の育成について新しい事業で、ネイティブスピーカーと英会話を通して発信力を強めていくことにしており、5校の文理探究科の生徒については、対象校とし

てネイティブの方とオンライン学習ができるようなインセンティブを与えながら志願者を増やしてまいりたいと考えている。

□ いじめ重大事態について

(宮本法広委員)

前回の文教厚生委員会で、いじめの重大事態についての報告があったが、その後の取り組み状況はどうなっているのか。

(児童生徒支援課長)

いじめ重大事態を二度と起こしてはならないという思いで取り組みを進めている。今年4月には全ての県立学校長を、5月には公私立の全ての高等学校及び特別支援学校教頭・副校長を対象とした研修会を実施し、実際の事例を踏まえたグループ協議や第三者委員会の委員を務めた方による講義を通し、いじめ問題に向き合う姿勢や危機意識の醸成を図ったところである。

また、県でいじめ防止対策に係るチェックリストを作成し、各学校におけるいじめ防止基本方針の見直しや、校内研修の実施など、いじめ防止に向けた取り組みの総点検を実施した。なお、チェックリストは市町教育委員会へも送付し、活用をお願いしたところである。

□ 夜間中学について

(宮本法広委員)

今年度の夜間中学に関する取り組みはどうなっているのか。また、できるだけ多くの県民にきていただきたいと思っているが、周知については、どのようにされていく予定か。

(高校教育課長)

昨年度実施予定だったシンポジウムを7月に長崎と佐世保で実施することとしており、基調講演などを通して夜間中学についての機運を高めていきたいと考えている。

周知については、シンポジウムのチラシをNPO法人や公民館などの関係機関を通じて配布しているところであり、加えて、県のホームページにも掲載をして参加者を募っているところである。

(宮本法広委員)

2020年の国勢調査から義務教育未就学者数の把握もするようになったかと思うが、本県で義務教育を終えていない方の数はどうなっているのか。

(高校教育課長)

10年前の国勢調査とは異なり、「未就学者」と「最終学歴が小学校の者」の2つに分類され、小学校を卒業していない「未就学者」は、1,183名で、中学校を卒業して

いない「最終学歴が小学校の者」が12,078名で、合計で13,261名となっている。

(宮本法広委員)

かなり増えている印象で、前回の国勢調査で分かっていた義務教育を修了されていない人数は1,800名程度だったと思うが、増えているという認識でいいのか。

(高校教育課長)

10年前の国勢調査での未就学者は1,868名だった。年齢別の度数分布を分析したところ、今年度で87歳になられる方以上は当時の尋常小学校を卒業されており、当時の制度であれば尋常小学校を卒業された方は義務教育を修了されているという区分になっているため、年齢階層の85歳以上の方を度数分布から差し引くと2,846名となり、ご高齢の方が大半を占めるという状況である。

(宮本法広委員)

このような調査で増えているということが明らかになってきたということで、改めて夜間中学に対するニーズも一定高まっており、必要性は増してきていると思うので、引き続き取り組みと対応をお願いしたい。

□ 佐世保特別支援学校の増築について

(坂本浩委員)

佐世保特別支援学校について、校舎の内部が複雑であり、かつ、非常に手狭でなんとかしてほしいという声を聞くが、増築等の計画についてはどうなっているか伺いたい。

(教育環境整備課長)

佐世保特別支援学校については、文部科学省が調査した結果によると23教室不足しているという状況であり、今後これをどう解消していくか現在検討しているところである。

(坂本浩委員)

具体的な年次計画はなく、今はまだ抽象的な計画なのか。

(教育環境整備課長)

今年2月に策定した第二期特別支援教育推進基本計画、第一次実施計画では令和6年度までの教室不足の対応として、虹の原特別支援学校と鶴南特別支援学校時津分校の改修を予定している。

佐世保特別支援学校については、それ以降の計画として検討してまいりたい。

(坂本浩委員)

施設の増築となると敷地の問題など時間がかかると思われるため、現場の声を聴いていただきながら進めていただきたい。

ロ インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の充実について

(坂本浩委員)

インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の充実を図るため、文部科学省において、通級教室の充実ということで有識者会議を作って議論を進めているようである。

そのことに関する県教育委員会としての認識と施策の方向性、基本的なところをまず、教えてほしい。

(特別支援教育課長)

文部科学省においては、有識者会議が新しく立ち上がり、通常の学級の特別支援教育を含めて、特に通級学級の指導の充実について、検討が進められている。

通級指導教室では、コミュニケーションや人間関係、心理的な安定など、集団の中で落ち着く方法を学んで、通常学級でも集団の中で学べるよう通常学級の指導と両輪で教育をしており、そういった教育をしていく必要がある発達障害の子どもたちが、全国調査では6.7%いる。

そういう中で、県教育委員会として、通級指導教室の必要性というのは、十分に認識しており、通級指導教室の数も増えている。引き続き、通級指導教室の充実に向けて取り組んでいきたい。

(坂本浩委員)

今、全国調査で発達障害の可能性のある児童・生徒の割合というのが、6.7%ということであったが、県内でそうした通級指導を受けている児童生徒数が何人であるか、把握しているか。

(特別支援教育課長)

令和4年度の通級指導教室の設置数は、201学級、そこに在籍する児童生徒数は、2,739名となっている。学級数は昨年度の198教室から3学級増え、児童生徒数は、昨年度の2,782名から、若干減っている。減った理由は、通級指導教室で十分学んだ子どもたちが、その指導の成果を踏まえて、通常学級のみでの指導で学べるようになってきたためである。

また、国が十数年ぶりに全国調査を行っており、その結果が今年12月くらいに公表される予定であり、その数値を踏まえて、しっかり何ができるか考えていきたい。

(坂本浩委員)

通級指導教室を充実させていくためには、それに対応する先生が必要だと思うが、一人の先生が何校か受け持っているなど、大変だという声も聞いている。可能な限り自校

で通級指導を行う体制を確保していく必要があると思うが、その認識はどうか。

(特別支援教育課長)

本県では、自校通級の子どもの多いという傾向があるが、通級をやっている学校に向いて、その時間、通級以外の学習も受けられない子どもたちもいる。

また、移動時間もかかるため、委員ご指摘のとおり、巡回か自校で通級を受けた方がよいということは十分理解しており、国に対して、充実した定数が措置されるよう施策要望等で要求をしていきたい。

□ 不祥事について

(山口経正副委員長)

教職員の処分の推移についてお尋ねしたい。

(総務課長)

過去10年間の推移としては、平成25年度が12件となっており、その後数件程度で推移しており、令和2年度は1件であった。しかし、令和3年度は13件となり、今年度は1件となっている。

(山口経正副委員長)

教職員の不祥事について、令和3年度は13件ということで、ここ10年間で一番多い数字となっているが、分析と対応はどのようにしているのか。

(高校教育課人事管理監)

昨年度については、教諭以外の船員や会計年度任用職員による不祥事が多発したところである。会計年度任用職員については、全職員が集まる職員会議や職員研修には、参加していなかったため、不祥事防止の研修の機会がなかったが、昨年度途中から不祥事防止の取組への参加を学校にお願いしているところである。

(山口経正副委員長)

雇用形態は違っても同じ教職員として社会では捉えられる。体罰やわいせつ事案が減っていないことについて、どう捉えているのか。

(高校教育課人事管理監)

体罰とわいせつ行為による懲戒処分が減らないことは申し訳なく思っている。令和4年4月から懲戒処分基準を厳罰化しており、わいせつ行為については、生徒の同意の有無にかかわらず、処分の対象にし、体罰についても、これまでは負傷や精神的苦痛が認められないものについては校長による厳重注意としていたが、県教委による指導措置以上として厳罰化した。また、わいせつ行為の防止については、専門家による医学的アプローチによる自己分析チェックシートを導入し、不祥事の防止に努めているところであ

る。

(山口経正副委員長)

不祥事の再発防止と信頼回復について、教育長の所見を伺いたい。

(教育長)

不祥事根絶に向けて教育関係者が取り組む中で、いまだに不祥事が起こっている状況については、大変申し訳なく思うし、一部の教職員の不祥事により、教育全般のイメージが悪化し、保護者等に不信感を抱かせるということを考えると、頑張っている多くの教職員に対しても申し訳なく思っている。教職員1人1人が不祥事を起こさないという強い決意を持ってもらうことが大事で、今後、教育長のメッセージを発出して教職員の意識に強く呼びかけていくことも検討していきたい。また、発出にあたっては、内部の教職員だけでなく、保護者や地域の方が教育はいい方向に向かっていると感じてもらえるように発信することも大事だと思うので、不祥事を起こさないというような強い思いと方策について考えてまいりたい。

<p>件 名</p>	<p>教育職員免許状に関する規則の一部改正及び教育職員の免許状に係る有効期間の更新等に関する規則の廃止について</p>
<p>概 要</p>	<p>1. 改正等の理由</p> <p>「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律（令和4年法律第40号）」が公布され、教員免許更新制に係る規定を削除する教育職員免許法の改正が令和4年7月1日から施行されることから、教育職員免許状に関する規則（平成元年長崎県教育委員会規則第6号）の一部を改正するとともに、教育職員の免許状に係る有効期間の更新等に関する規則（平成21年長崎県教育委員会規則第3号）の廃止を行ったものである。</p> <p>2. 改正した規則と内容</p> <p>(1) 教育職員免許状に関する規則の一部改正</p> <p>① 普通免許状及び特別免許状の更新制に関する規定の削除</p> <p>② その他規定の整備</p> <p>(2) 教育職員の免許状に係る有効期間の更新等に関する規則の廃止</p> <p>教育職員免許法の一部改正により、教員免許更新制が廃止することに伴い、教育職員の免許状に係る有効期間の更新等に関する規則を廃止。</p> <p>3. 施行日</p> <p>令和4年7月1日</p> <p>【参考】教育職員免許法の一部改正</p> <p>現 行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許に10年の期限を設ける。 ・10年に一度、所定の期間内に大学等で30時間以上の免許状更新講習を受講し、大学等が発行する証明書を添えて、県教育委員会に更新申請を行う。 ・更新手続を行わずに期限を経過した場合、失効となる。 <p>改正後 (R4.7.1 施行)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①免許状の更新申請に関する規定を削除する。 ②法施行の際現に効力を有し、改正前の規定により有効期間が定められた免許状には、施行日以後は有効期間の定めがないものとする等の経過措置を設ける。

教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律の概要

趣旨

校長及び教員の資質の向上のための施策をより合理的かつ効果的に実施するため、**公立の小学校等の校長及び教員の任命権者等による研修等に関する記録の作成並びに資質の向上に関する指導及び助言等に関する規定を整備し、普通免許状及び特別免許状の更新制に関する規定を削除する等の措置を講ずる。**

概要

1. 研修記録の作成及び資質の向上に関する指導助言等(教育公務員特例法の一部改正)

①任命権者は、校長及び教員ごとに研修等に関する記録を作成しなければならない。

〈記録の範囲〉 【教特法第22条の5第1項及び第2項】

- ・研修実施者※₁が実施する研修
- ・大学院修学休業により履修した大学院の課程等
- ・任命権者が開設した認定講習及び認定通信教育による単位の修得
- ・その他任命権者が必要と認めるもの

②指導助言者※₂は、校長及び教員に対し資質の向上に関する指導助言等を行うものとする。その場合に、校長及び教員の資質の向上に関する指標及び教員研修計画を踏まえるとともに、①の記録に係る情報を活用する。

【教特法第22条の6第1項及び第2項】

③指導助言者は、独立行政法人教職員支援機構(NITS)や大学等に情報の提供等の協力を求めることができることとする。

【教特法第22条の6第3項】

④教員研修計画に、資質の向上に関する指導助言等の方法に関して必要な事項を加える。

【教特法第22条の4第2項第4号】

新たな研修制度イメージ

国 教師の資質向上に関する指針



指導助言者は、(1)～(3)に基づき、
・校長及び教員からの相談対応、
・資質の向上の機会に関する情報提供
・資質の向上に関する指導助言を行う※₃。

↑
指導助言者の求めに応じ、資質の向上の機会に関する情報の提供等

教職員支援機構、大学等

※₁ 研修実施者は中核市の県費負担教職員の場合は中核市教育委員会、その他の校長及び教員の場合は原則任命権者。

※₂ 指導助言者は県費負担教職員の場合は市町村教育委員会、その他の校長及び教員の場合は任命権者。

※₃ 教員への指導助言等は、教育委員会の指揮監督に服する校長等が実施することを想定。

2. 普通免許状及び特別免許状の更新制に関する規定の削除等(教育職員免許法の一部改正)

①普通免許状及び特別免許状を有効期間の定めのないものとし、更新制に関する規定を削除する。

【免許法第9条～第9条の4等】

②施行の際現に効力を有し、改正前の規定により有効期間が定められた普通免許状及び特別免許状には、施行日以後は有効期間の定めがないものとする等の経過措置を設ける。

【附則第3条】

3. その他(教育職員免許法の一部改正)

①普通免許状を有する者が他の学校種の普通免許状の授与を受けようとする場合に必要な最低在職年数について、当該年数に含めることができる勤務経験の対象を拡大する。

【免許法別表第8】

②主として社会人を対象とする教職特別課程(普通免許状の授与を受けるために必要な科目の単位を修得させるために大学が設置する修業年限を1年とする課程)について、修業年限を1年以上に弾力化する。

【免許法別表第1備考第6号】

施行期日

令和4年7月1日(1.の規定は令和5年4月1日)【附則第1条】

令和4年7月1日以降の教員免許状の扱いについて ※改正教育職員免許法施行時



文部科学省

- 施行日時点で有効な教員免許状（休眠状態のものを含む）は、手続なく、有効期限のない免許状となる。
- 施行日前に有効期限を超過した教員免許状の扱いは次のとおり。

新・旧の別 (注1)	現職教師 (注2)	非現職教師 (パーティーチャー等)
新免許状	失効	失効
旧免許状	失効	休眠

※失効した免許状については、都道府県教育委員会に再授与申請手続（注3）を行うことで、有効期限のない免許状の授与を受けることが可能。（注4）

（注1）新免許状、旧免許状の別は以下のとおり。

新免許状：更新制導入後（平成21年4月1日以降）に初めて免許状の授与を受けた者が保有する免許状

旧免許状：更新制導入前（平成21年3月31日以前）に初めて免許状の授与を受けた者が保有する免許状

※旧免許状保有者が更新制導入後に新たに他の免許状の授与を受けた場合、新たに授与されたものも含め、「旧免許状」として取り扱われる。

このため、同一の者が新・旧免許状を両方保有することはない。

（例：平成21年3月31日以前に中学校教諭免許状を取得し、平成21年4月1日以降に小学校教諭免許状を取得した場合など）

（注2）「現職」「非現職」の判定時点は、有効期限の日現在。「現職教師」には、産休・育休中の者等も含む。

（注3）再授与申請手続に必要な書類等については、各都道府県教育委員会が定めている。

（注4）極めて例外的なケース（平成12年の教育職員免許法改正に伴う経過措置により授与された免許状）については、免許状が再授与されない場合がある。8

令和4年7月1日以降の教員免許状の扱いについて（補足説明）



文部科学省

「令和4年7月1日以降の教員免許状の扱いについて※改正教育職員免許法施行時」の補足説明です。

（注1の補足）新免許状には有効期間があり、旧免許状には有効期間はありませんが生年月日等に従って割り振られた修了確認期限が設定されています。本表ではこれらを合わせて「有効期限」と表記しています。「有効期限」の自己確認方法については文部科学省HPの以下のページを参考にしてください。

[トップ](#) > [教育](#) > [教員の免許、採用、人事、研修等](#) > [教員免許更新制](#) > [＜ケース別＞更新手続きの流れ](#) > [新免許状所持者（平成21年4月以降に初めて免許状を授与された方）](#)

[トップ](#) > [教育](#) > [教員の免許、採用、人事、研修等](#) > [教員免許更新制](#) > [修了確認期限をチェック](#)

（注2の補足）「現職」「非現職」の判定時点は、有効期限の日現在です。

「現職教師」には、産前・産後休暇、育児休業、介護休業、病気休職等、休暇、休業、休職中の者も含まれます。

有効期限の日に退職した教員について、定年退職者は「現職教師」、自己都合退職、勸奨退職者は「非現職教師」の扱いとなります。

本表でいう「現職教師」とは「更新講習の受講義務者」を指します。具体的には以下のとおりです。

- 1) 校長、副校長、教頭、及び教員（ただし、指導改善研修受講中の者を除く。）
- 2) 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
- 3) 2) に準ずる者として免許管理者が定める者

（注3の補足）再授与申請手続に必要な書類等については、各都道府県教育委員会が定めています。

（必要書類の例） ・ 申請書

- ・ 学力に関する証明書（学位と単位の取得・修得状況確認）
- ・ 介護等体験証明書（小中学校教員に必要な体験実施状況）
- ・ 戸籍抄本・謄本（原簿に登録するための氏名・本籍地の確認用）
- ・ 宣誓書（免許授与の欠格要件に該当しないことの確認）

（注4の補足）平成12年改正教育職員免許法（平成12年法律第29号）附則第2項各号及び第3項の経過措置により授与された免許状は、失効した場合再授与されません。

件 名	令和4年度長崎県高等学校体育大会について
概 要	<p>○令和4年度長崎県高等学校総合体育大会について</p> <p>1 期 間 令和4年6月3日(金)～6月10日(金)</p> <p>2 会 場 7市3町 60会場 (総合開会式は佐世保市総合グラウンド陸上競技場)</p> <p>3 実施競技 31競技(駅伝は含まない)</p> <p>4 参加校・人数 87校 10,011名</p> <p>5 競技結果等 別紙一覧表参照</p> <p>※令和4年度全国高等学校総合体育大会の概要 (躍動の青い力 四国総体 2022)</p> <p>1 開催県 徳島県・香川県・愛媛県・高知県 (総合開会式は徳島県で実施)</p> <p>2 期 間 令和4年7月23日(土)～8月23日(火)</p> <p>○令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会長崎県予選大会について</p> <p>1 期 日 令和4年6月12日(日)</p> <p>2 会 場 佐世保中央高校・佐世保工業高校</p> <p>3 実施競技 3競技(バスケットボール、卓球、バドミントン)</p> <p>4 参加校・人数 9校13課程 250名</p> <p>5 競技結果 別紙一覧表参照</p> <p>※令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会の概要</p> <p>1 開催県 東京都・神奈川県・千葉県・静岡県</p> <p>2 開催期間 令和4年7月25日(月)～8月19日(金)</p>

令和4年度(第74回)長崎県高等学校総合体育大会 団体優勝及び上位校一覧

期間:令和4年6月3日(金)~6月10日(金)

競技種目	性別	優勝	回数	2位	3位
1 陸上競技	男女	長崎日大	3 大会連続 13 回目	諫早農業	長崎南
	男女	長崎日大	26 年ぶり 14 回目	口加	純心女子
2 ソフトテニス	男女	長崎南山	2 年連続 16 回目	長崎工業	精道三川台
	男女	大村	7 大会連続 8 回目	長崎商業	島原商業
3 バレーボール	男女	大村工業	3 年ぶり 18 回目	長崎南山	諫早
	男女	九州文化	4 大会連続 34 回目	聖和女子	創成館
4 ハンズケットボール	男女	長崎工業	初優勝	長崎西	長崎東
	男女	長崎西	6 年ぶり 12 回目	鎮西学院	純心女子
5 卓球	男女	鎮西学院	3 大会連続 34 回目	瓊浦	長崎北陽台
	男女	鎮西学院	2 年連続 32 回目	瓊浦	長崎女子商業
6 体操	男女	創成館	3 年ぶり 15 回目	大村工業	鎮西学院
	男女	創成館	2 年連続 5 回目	佐世保西	聖和女子
7 新体操	男女	長崎女子	2 年連続 49 回目	活水	青雲
	男女	諫早農業	26 大会連続 44 回目	北松農業	長崎鶴洋
8 弓道	男女	長崎南	6 年ぶり 3 回目	長崎南山	諫早農業
	男女	島原	7 年ぶり 11 回目	長崎南	海星
9 剣道	男女	島原	4 年ぶり 15 回目	長崎南山	西陵
	男女	西陵	6 年ぶり 6 回目	島原	西海学園
10 柔道	男女	長崎日大	8 大会連続 18 回目	長崎南山	佐世保工業
	男女	長崎明誠	14 大会連続 15 回目	創成館	五島
11 サッカー	男女	長崎総附	2 年連続 5 回目	国見	創成館
	男女	鎮西学院	11 大会連続 11 回目	海星	島原商業
12 ラグビー	男女	長崎北陽台	4 大会連続 20 回目	長崎北	島原工業
	男女	大村工業	4 大会連続 12 回目	島原工業	佐世保西
13 ソフトボール	男女	長崎商業	2 年連続 18 回目	九州文化	向陽
	男女	瓊浦	7 大会連続 35 回目	佐世保実業	西陵
14 バドミントン	男女	諫早商業	11 大会連続 11 回目	長崎女子	向陽
	男女	長崎北陽台	17 大会連続 33 回目	大村工業	
15 登山	男女	長崎北陽台	4 大会連続 23 回目	大村	
	男女	長崎日大	4 年ぶり 23 回目	瓊浦	長崎工業
16 ハンドボール	男女	清峰	5 年ぶり 3 回目	佐世保商業	長崎商業
	男女	川棚	11 大会連続 26 回目	佐世保工業	佐世保西
17 ホッケー	男女	※川棚のみ参加			
18 レスリング	男女	島原工業	8 年ぶり 17 回目	島原	
19 ボクシング	男女	瓊浦	3 年ぶり 23 回目	長崎鶴洋	大村工業
	男女	諫早農業	11 大会連続 50 回目	西彼農業	希望が丘特支
20 ウエイト	男女	諫早農業	2 年連続 2 回目	西彼農業	
	男女	海星	23 大会連続 41 回目	長崎東	西陵
21 テニス	男女	海星	2 年連続 4 回目	長崎北陽台	長崎女子商業
	男女	長崎工業	4 年ぶり 15 回目	諫早商業	長崎東
22 フェンシング	男女	長崎工業	初優勝	諫早商業	諫早
	男女	長崎鶴洋	12 大会連続 22 回目	長崎総大附	長崎日大
23 ヨット	男女	長崎工業	2 年連続 12 回目	長崎北陽台	
	男女	大村	3 大会連続 22 回目	長崎明誠	大村城南
24 ボート	男女	大村城南	6 年ぶり 26 回目	大村	長崎明誠
	男女	島原工業	13 年ぶり 23 回目	長崎南	長崎東
25 ライフル射撃	男女	長崎北	3 年ぶり 20 回目	長崎東	長崎南
	男女	佐世保工業	7 年ぶり 7 回目	長崎北	長崎南山
26 水泳	男女	九州文化	2 年連続 8 回目	長崎北	長崎西
	男女	長崎西	2 年連続 4 回目	長崎工業	
27 空手道	男女	瓊浦	3 年ぶり 22 回目	長崎日大	猶興館
	男女	瓊浦	2 年連続 17 回目	長崎日大	猶興館
28 アーチERY	男女	大村工業	8 大会連続 23 回目	諫早東	
	男女	※佐世保商業のみ参加			
29 カヌー	男女	西陵	2 年連続 5 回目	長崎西	長崎鶴洋
	男女	西陵	6 大会連続 7 回目	長崎西	
30 駅伝	男女				
31 自転車	男女	鹿町工業	2 年連続 7 回目	佐世保工業	
32 なぎなた	男女	※松浦のみ参加			

令和4年度(第74回)長崎県高等学校総合体育大会 個人優勝及び上位入賞者一覧

競技名	種目	性別	期日	第1位			第2位			第3位		
				記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
陸上	100m	男	6/5	10.59	深山 創希 3	口加	10.66	植松 康太 2	長崎南	10.77	中川 穂象 2	佐世保西
	200m	男	6/7	21.32	深山 創希 3	口加	21.56	植松 康太 2	長崎南	21.81	臼木 大悟 3	希望ヶ丘
	400m	男	6/4	48.53	竹下 結夢 2	吾岐	48.87	森 瑛士 3	長崎南山	49.18	橋本 陸央 2	長崎南
	800m	男	6/6	1:52.59	後田 篤 3	創成館	1:55.13	井口 魁斗 2	環浦	1:59.09	松村 剛輝 3	諫早農業
	1,500m	男	6/4	3:48.66	後田 篤 3	創成館	3:51.15	東 秀哉 2	環浦	3:51.38	井口 魁斗 2	環浦
	5,000m	男	6/6	14:53.82	土井 康成 3	諫早農業	14:56.63	幸田 凛太 1	鎮西学院	14:59.19	川原 琉人 2	松浦
	110mH	男	6/7	15.14	谷川 穂人 2	五島	15.28	山本 貴嗣 3	青雲	15.45	山田 光祐 2	五島
	400mH	男	6/6	52.67	小柳 新 3	長崎日大	53.4	青井 優汰 3	佐世保西	53.74	北浦峻生 4	島原
	3,000mSC	男	6/7	9:27.16	高木 凌 3	鎮西学院	9:29.29	高本 直季 3	佐世保北	9:31.70	今井力蔵人 3	創成館
	5,000mW	男	6/4	22:46.46	尾崎 淳平 3	口加	23:31.04	吉田 広大 2	佐世保工業	24:17.78	佐方 健祐 2	川樞
	8種競技	男	6/4.5	50:15	原口 巧真 3	諫早農業	49:18	山崎 通人 3	長崎日大	48:30	秋山 尽 2	諫早農業
	4x100mR	男	6/6	41.08	橋本 陸央 2 高橋龍之介 3 植松 康太 2 瀧木 英弥 2	長崎南	42.03	松崎 大翔 3 古賀 耀空 3 羽田 亘 2 金川 大和 3	長崎日大	42.17	堤 高希 3 今村 航 3 法村 健太 3 法村 源太 3	西海学園
	4x400mR	男	6/7	3:15.77	橋本 陸央 2 飛木 裕翔 3 橋本 龍太 1 植松 康太 2	長崎南	3:18.11	吉居 央祐 3 中村 優作 3 植川 晴翔 3 志枝 大陽 3	長崎北陽台	3:19.16	山下慎太郎 1 山田 蓮 2 山崎 海輝 2 井口 魁斗 2	環浦
	走高跳	男	6/6	2m00	藤山 拓歩 2	諫早農業	1m86	本多 来斗 3	諫早農業			
	棒高跳	男	6/6	4m20	吉田 直生 2	諫早農業	4m10	井 龍太 3	西海学園	3m80	森隆之介 2	長崎日大
	走幅跳	男	6/4	7m40	藤家 尚平 3	長崎北陽台	6m93	辻 嘉奈人 2	長崎日大	6m87	山口 通輝 1	長崎南
	三段蹴	男	6/7	14m11	藤家 尚平 3	長崎北陽台	13m98	北浦峻生 大 3	島原	13m89	佐藤 圭悟 2	長崎日大
	砲丸投	男	6/4	14m07	大浦 宏文 3	長崎日大	13m49	本多 武蔵 1	長崎日大	13m27	武田壮一郎 3	長崎日大
	円盤投	男	6/7	40m66	武田壮一郎 3	長崎日大	39m48	大浦 宏文 3	長崎日大	37m79	竹下 斗真 3	口加
	ハンマー投	男	6/5	48m58	林田 莉空 3	長崎工業	47m07	小泉 潤 3	長崎日大	42m81	山下 尊仁 3	西海学園
	やり投	男	6/6	57m37	川井 雅雄 3	長崎日大	54m99	池田 崇志 2	長崎日大	54m17	原口 巧真 3	諫早農業
	100m	女	6/5	12.33	種並 彩 2	純心女子	12.34	小川 由愛 3	長崎日大	12.47	宮崎 叶和 2	長崎日大
	200m	女	6/7	25.51	小川 由愛 3	長崎日大	26.08	爽浦 美空 3	純心女子	26.32	音西 咲那 3	純心女子
	400m	女	6/4	57.14	渡邊 陽 3	長崎南	58.43	田中ひかり 2	純心女子	58.68	川崎 蓮華 3	長崎南
800m	女	6/6	2:13.67	北村 優衣 3	口加	2:17.46	増丸 奈央 1	諫早	2:19.95	大町 咲帆 2	長崎商業	
1,500m	女	6/4	4:34.93	北村 優衣 3	口加	4:36.01	藤丸 結 3	諫早	4:41.77	永井 日和 3	鎮西学院	
3,000m	女	6/7	9:22.33	田中 咲輝 3	諫早	9:32.99	藤野朝乃香 3	諫早	10:10.02	野村 夏希 2	諫早	
100mH	女	6/7	15.28	宮崎 葉唯 1	長崎日大	15.32	松崎 結菜 3	諫早農業	15.60	山田瑠璃望 3	五島	
400mH	女	6/5	1:02.92	渡邊 陽 3	長崎南	1:04.34	吉野 愛花 3	純心女子	1:05.25	渡部 彩花 3	口加	
5000mW	女	6/4	25:20.46	藤平 彩良 3	佐世保商業	25:29.83	辻田 麗奈 3	諫早商業	26:37.82	相良 夢美 3	口加	
7種競技	女	6/5.6	43:98	井上みさき 1	長崎日大	39:34	緒方 一花 2	長崎日大	38:36	廣沢 来星 3	諫早農業	
4x100mR	女	6/6	47.83	松田 晏奈 1 小川 由愛 3 井上みさき 1 宮崎 叶和 2	長崎日大	49.27	原 紗彩 1 武岡 美玖 3 川崎 蓮華 3 松元 華菜 2	長崎南	49.58	中嶋 楓 2 池田アユミ 3 田中 結緒 2 永山 美子 3	長崎女子	
4x400mR	女	6/7	3:54.64	吉野 愛花 3 音西 咲那 3 野田 咲紀 3 田中ひかり 2	純心女子	3:54.99	松永 彩乃 3 北村 優衣 3 本多 奏 3 渡部 彩花 3	口加	3:57.89	井上みさき 1 守田 朝 3 松田 晏奈 1 小川 由愛 3	長崎日大	
走高跳	女	6/4	1m63	池田アユミ 3	長崎女子	1m57	打田 蒼空 3	諫早農業	1m54	佐伯菜々子 1	長崎日大	
棒高跳	女	6/4	2m80	松原ゆずき 3	口加	2m70	中村 莉瑠 1	長崎日大	2m60	松尾しずく 2	口加	
走幅跳	女	6/6	5m68	緒方 彩乃 3	長崎日大	5m67	種並 彩 2	純心女子	5m53	長岡 幸奈 3	岩崎	
三段蹴	女	6/7	11m70	緒方 彩乃 3	長崎日大	11m56	井上 美晴 2	純心女子	11m35	武藤 蓮華 3	長崎日大	
砲丸投	女	6/7	12m19	浦 紗瑛 3	五島	11m95	浦瀬 優 2	対馬	11m95	近藤 湊 1	長崎日大	
円盤投	女	6/5	35m70	草野 美夕 2	長崎南	35m10	遠藤由姫衣 3	佐世保商業	31m83	井上 奈々 3	口加	
ハンマー投	女	6/6	43m04	竹村 紗奈 1	長崎女子	39m00	牛水 彩乃 2	長崎日大	38m74	井口 知香 3	口加	
やり投	女	6/4	47m42	山崎 純音 3	口加	45m03	勝見 昌季 2	対馬	41m54	近藤 湊 1	長崎日大	
卓球	個人	男	6/8	光井 千綾 3	須川誠太郎 2	精道三川台	吉田 慧彦 長濱 悠人 2.9	長崎南山				
				木下 隼汰 3	木田 大翔 3	精道三川台	田口 湧 池田 迅 3.3	島原工業				
		女	6/8	竹山 千尋 2	片山 二樹 1	長崎商業	立山 裕菜 石橋 祐華 3.3	長崎女子				
				坂口美沙姫 2	八戸 春樹 3	長崎商業	小林 葵 島樂朝乃香 2.3	大村				
	シングルス	男	6/7	芝原 巧 2	本多 浩 3	鎮西学院	八色 遼斗 2	鎮西学院				
				佐原のどか 2	山本 鈴華 3	鎮西学院	櫻村 優衣 3	鎮西学院				
	ダブルス	男	6/7	八色 遼斗 2	寺坂 瑠人 3	鎮西学院	小田原 煌 山崎慎太郎 2.1	環浦				
				芝原 巧 2	樽崎 悠矢 3	鎮西学院	福嶋 孝康 本多 浩 3.3	鎮西学院				
	女	6/7	山本 鈴華 3	牧野伊呂葉 3	鎮西学院	中道 萌花 田川 慶月 3.3	環浦					
			佐原のどか 2	川原 美穂 1	鎮西学院	川ノ上千尋 海崎 由夢 1.1	鎮西学院					

令和4年度(第74回)長崎県高等学校総合体育大会 個人優勝及び上位入賞者一覧

競技名	種目	性別	期日	第1位			第2位			第3位		
				記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
体操	体操	男	6/5	75.400	青木 義歩	鎮西学院	72.350	山崎 成	2 創成館	71.700	佐田 樹太	3 大村工業
		女		46.950	谷山 紀菜	2 創成館	45.600	松下 由彩	2 長崎玉成			
	新体操	女	6/4		増永友理彩	3 長崎女子		白石 萌華	3 長崎女子		城野 仁二	1 活水
相撲	無差別級	男	6/5		藤 蒼馬	2 長崎鶴洋		小森 暉月	3 諫早農業		山口 力丸	2 長崎鶴洋
	100kg以上級				小森 暉月	3 諫早農業		藤 蒼馬	2 長崎鶴洋		森本 剣介	1 諫早農業
	80kg~100kg級				富永 風太	2 諫早農業		中村 星斗	1 諫早農業		下笠航士郎	2 諫早農業
	80kg未満級				木下 翔治	1 諫早農業		山口 力丸	2 長崎鶴洋		坂尾 力毅	1 北松農業
弓道	個人	男	6/5		堺屋 凌	3 長崎南		橋浦 友雅	3 長崎南		谷口 遥希	3 佐世保北
		女			松永 英李	2 島原		森本 結菜	3 島原		川辺 万都	3 対馬
剣道	個人	男	6/4		小柳 宏成	3 島原		長崎祥太郎	3 島原		井上 翔太	3 島原
		女			寄田 有亜	2 島原		三田村明海	3 西陵		竹田 寧人	3 島原
柔道	60kg級	男	6/5		平山 楓海	3 瓊浦		濱口 大誠	1 長崎日大		西橋 紀人	3 五島
	66kg級	男			秋山 悟大	3 長崎日大		川原 大吾	3 五島		久保 高太	2 五島
	73kg級	男			里道 裕大	3 五島		赤木 陸麗	1 長崎南山		重川 瑠輝	2 佐世保工業
	81kg級	男			木村 公了	3 長崎日大		深江 雄渡	2 長崎南山		三好 優希	2 長崎日大
	90kg級	男			大庭 清嵩	3 長崎日大		林田 学士	3 長崎南山		谷川 勇介	2 五島
	100kg級	男			中村龍ノ輔	3 長崎南山		松尾恵之伸	3 海星		堀 陽登	1 長崎東
	100kg超級	男			桂 海心	2 長崎日大		木村 成吾	1 長崎日大		村田 幸廉	1 長崎日大
	48kg級	女			畑山 凜	2 長崎明誠		三浦 星璃	3 長崎明誠		尾崎 茂憲	3 五島
	52kg級	女			吉田 璃子	2 長崎明誠		浜崎 朝衣	3 長崎明誠		川口 克希	1 長崎日大
	57kg級	女			齋藤 愛実	2 長崎明誠		山田 望愛	3 創成館		久木本大晟	3 長崎日大
	63kg級	女			山室 梢華	2 長崎明誠		池田 優和	3 創成館		宮本 拓夢	2 長崎日大
	70kg級	女			高野しいな	3 長崎明誠		竹下 綾香	2 長崎明誠		渋谷 海斗	3 長崎日大
	78kg級	女			山木あかり	3 長崎明誠		田端口菜理	1 長崎明誠		横田 心真	3 長崎南山
	78kg超級	女			池田 実琴	2 長崎明誠		山口 心夏	2 長崎明誠		前田飛穂真	3 長崎大附
バドミントン	シングルス	男	6/7		櫻井 煌介	3 瓊浦		奥野 天斗	3 瓊浦		小川 仁二	1 長崎明誠
		女			田中 佐彩	3 諫早商業		工藤 葉那	3 諫早商業		近藤 玲華	3 瓊浦
	ダブルス	男	6/6		櫻井 煌介	3 瓊浦		奥野 天斗	3 瓊浦		松添 紗巴	2 創成館
		女			南本 和哉	3 諫早商業		立石 華音	3 諫早商業		松本 梨那	2 五島
レスリング	51kg級	男	6/5		小川 大和	1 島原		濱崎 楓	2 大村工業		近藤 玲華	3 瓊浦
	55kg級	男			本村涼乃助	1 島原		柴田 和希	3 島原		山木きらり	3 長崎明誠
	60kg級	男			猿本 慎	3 島原工業		吉田 虎之祐	3 島原		小西 希歩	2 長崎明誠
	65kg級	男			榎本 健申	3 島原工業		谷本 郁弥	3 島原		木堀 彩	3 五島
	71kg級	男			小関 勝斗	3 島原工業		北原 祐誠	3 島原		本田 真悠	3 鎮西学院
	80kg級	男			岸田 広人	3 島原工業					清水 葵芳	3 五島
	92kg級	男			西山 慎人	1 諫早		岩本 健生	2 島原工業		曾田 遥風	3 創成館
	125kg級	男			片岡 拓海	3 島原工業		高原 拓也	3 島原		松瀬 華子	1 西陵
	ピン級	男			神原 士貴	2 瓊浦		平野 暹理	2 鎮西学院		瓜田ひまり	3 長崎女子
ボクシング	ライトフライ級	男	6/6		成瀬 太颯	2 瓊浦		東川 颯太	3 諫早商業		山下 希華	2 五島
	フライ級	男			山下 裕也	2 瓊浦		田淵 誠弥	2 佐世保工業		栗山 寿一	2 瓊浦
	バンタム級	男			園田 夏己	3 大村工業		末竹 翔太	2 長崎南山		南本 和哉	3 瓊浦
	ライト級	男			酒井 翔亜	3 長崎鶴洋		上野 珠祐	1 大村工業		濱野 亜妃	2 長崎女子
	ライトウェイト級	男			栗野 雅色	2 長崎鶴洋					宮平のぞみ	3 諫早商業
	ウェルター級	男			山崎 洋明	2 創成館					西村 陽翔	3 瓊浦
ミドル級	男		平川 昂明	2 長崎鶴洋					林田 真龍	2 瓊浦		

令和4年度(第74回)長崎県高等学校総合体育大会 個人優勝及び上位入賞者一覧

競技名	種目	性別	期日	第1位			第2位			第3位		
				記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
ウェイトリフティング	55kg級	男	6/5	159(70/89)	中村 峻佑 3	諫早農業	136(55/81)	小田 真聡 2	諫早農業	121(53/68)	本田 兼梧 3	諫早農業
	61kg級	男		183(83/100)	東 翔大 3	諫早農業	158(73/85)	谷渡 尚悟 3	諫早農業	158(71/87)	久保田聖也 2	諫早農業
	67kg級	男		185(85/100)	増田 真優 2	諫早農業	171(80/91)	松野 優次 2	西彼農業	163(75/88)	岸本 青空 2	西彼農業
	73kg級	男		205(91/114)	平井 広太 3	諫早農業	170(75/85)	山口 海 2	諫早農業	160(75/85)	高谷 豪 2	諫早農業
	81kg級	男		147(60/87)	田島 権 2	諫早農業	149(65/78)	宇都 慎真 2	西彼農業	185(65/80)	旋 光陽 2	長崎大学附属
	89kg級	男		193(90/103)	藤海 誠 3	西彼農業						
	102kg級	男	105(45/60)	西原 大翔 3	西彼農業	96(45/50)	大場 汰尾 1	西彼農業				
	+102kg級	男	155(70/85)	陸田 大空 3	長崎大学附属							
	49kg級	女	6/5	78(35/43)	山崎 千尋 2	諫早農業						
	55kg級	女		111(50/61)	藤田 理 3	諫早農業	103(45/58)	川口 紫音 2	西彼農業	81(33/48)	岩永 夢叶 1	諫早農業
	59kg級	女		109(48/61)	菅 愛梨 2	諫早農業						
	64kg級	女		136(60/76)	坂本 泉希 3	諫早農業	66(28/38)	稲田 美海 1	西彼農業			
		C&J大会新										
+64kg級	女	115(59/56)		久松 和音 3	西彼農業	106(46/60)	岩永菜々美 2	諫早農業				
		スナッチ大会新、トータル大会新										
テニス	シングルス	男	6/7		安田圭太郎 3	長崎東		渡邊 陽太 2	海星		南 伊蘭 1	海星
		女			川上くるみ 3	海星		高見 花菜 3	長崎北陽台		田中 陸翔 3	海星
		男			中村 宗平 3	長崎北陽台		田中 陸翔 3	海星		福田 紗月 1	長崎北陽台
	ダブルス	男			中村 光志 3	長崎北陽台		海邊 陽太 2	海星		児島 未莉 2	長崎北陽台
		女			川上くるみ 3	海星		森山 和夏 2	長崎東		安田圭太郎 矢田 翔 3.3	長崎東
		男			末吉 彩望 3	海星		野口 知乃 2	長崎東		坂口 吉貴 今里 航大 2.2	海星
フェンシング	フルーレ	男	6/4		四元 暖 1	長崎工業		石橋 大和 3	長崎工業		中川 昇成 3	諫早商業
		女			徳永美波音 2	諫早商業		江頭 莉乃 2	諫早商業		岩下 実央 3	長崎工業
	エペ	男	6/4		宮崎 祥栄 3	諫早		山口 尊仁 3	諫早		庄司 大雅 3	長崎工業
		女			藤野 夢叶 3	長崎工業		山本 幸希 3	長崎工業		盛 弓咲 2	諫早
	サーブル	男	6/5		浜口 歩 3	諫早商業		荒木 優斗 3	長崎工業		新宮 直将 3	諫早商業
		女			黒田 七夏 2	諫早商業		一瀬 咲季 2	諫早商業		徳永美波音 2	諫早商業
ショット	FJ級ソロ	男	6/4									
		女										
	420級ソロ	男		2点	木下 優輝 3	長崎鶴洋(1)	4点	梅崎 賢成 2	長崎鶴洋	7点	中山 香輝 2	長崎鶴洋(2)
		女		2点	竹村 渉 2	長崎鶴洋(1)	4点	伊藤 一成 2	長崎鶴洋	6点	松原 拓未 1	長崎鶴洋(2)
	ツグバツグバ級	男		2点	狩野 遥風 3	長崎工業(1)	4点	菊池琉輝也 2	長崎工業(3)			
		女		2点	森濱 美咲 2	長崎工業(1)	4点	村中 優希 1	長崎工業(3)			
	男	2点	西平 麗菜 1	長崎工業(1)	4点	吉井遊姫帆 2	長崎鶴洋					
	女	2点	大藪 愛美 1	長崎工業(1)	4点	廣橋 花美 2	長崎鶴洋					
ボート	ツグバツグバ	男	6/4	4:06.00	坪森 省吾 3	大村	4:10.58	松本 英翔 3	大村城南	4:20.10	江崎 誠人 3	佐世保高専A
		女		5:09.99	徳永 望月 3	大村城南	5:24.02	山下 真奈 2	大村A	5:49.42	山田みづき 1	大村B
	ダブルスカル	男		4:24.43	中野 悠介 3	大村A	4:28.54	野崎 尊 3	長崎明誠	4:32.49	石川 拓実 2	大村城南A
		女		4:44.99	松尾 匠馬 3	大村城南	5:11.45	田中 豪 3	大村A	5:51.58	前田 幸優 2	大村B
	舵手つき フォドルブル	男		4:02.06	中島 百花 3	長崎明誠	4:09.70	山口 明葉 3	大村A	4:16.98	尾上 颯来 1	大村B
		女		4:11.03	柴田 美晴 3	大村城南	4:15.53	田中実弥乃 3	長崎明誠	4:46.13	総野 真夏 1	佐世保高専
					佐藤 貴枝 3	長崎明誠		田川 隼 3			園元 海音 3	
					室塚 和斗 3	長崎明誠		荒木 透也 3			園田 悠太 3	
					前田 直誠 3	長崎明誠		黒川 颯太 3			白井 勇輝 2	
					川口 真巧 2	長崎明誠		濱邊咲太郎 2			田口権太郎 2	
		村岡 彬大 3	大村A		黒川 颯太 3			中嶋 悠太 3				
		中村 紅葉 2	大村A		竹本まひろ 1			林田 彩里 1				
		尾上 寧玖 3	大村A		今村 尊希 3			清水 花実 1				
		深瀬 ゆず 2	大村A		立木 乃彩 3			田中 真結 1				
		大串 蒼奈 3	大村A		秋月 穂羽 2			池角 姫依 1				
		樋口 珠優 2	大村A		中谷 桜花 3			吉田菜友子 1				

令和4年度(第74回)長崎県高等学校総合体育人会 個人優勝及び上位入賞者一覧

競技名	種目	性別	期日	第1位			第2位			第3位			
				記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	
ライフル射撃	BP	男	6/6	230.4	西平 望弥 3	長崎南	230.2	内田 賢 2	長崎北	205.6	平野 陽希 1	長崎東	
		女		225.2	横川 智英 2	長崎東	219.0	八木 洸 2	長崎北	196.3	荒井 涼花 3	長崎南	
	AR	男		242.8	森保 信博 2	長崎東	237.5	林 優太 2	長崎東	213.4	殿部 藍士 3	島原工業	
		女		242.0	山口日菜佳 2	長崎東	235.5	高崎 真結 3	長崎北	215.3	宮原 有麻 3	島原工業	
	BR	男		246.9	松尾 龍樹 3	長崎南	245.4	中川 優特 3	長崎南	225.9	永峯 昂敏 3	長崎東	
		女		245.0	入江保之美 2	長崎北	244.7	山崎佳那子 2	長崎北	223.6	池田 咲希 3	長崎南	
	エア団体	男		1768.0	坪田虎太郎 2	島原工業	1752.6	林 優太 2	長崎東	1721.4	片山 祥 2	長崎北	
		女		1801.5	山口日菜佳 2	長崎東	1785.7	高崎 真結 3	長崎北		岡田 尚輝 2		
					川藤 凜子 3			岩永 百加 3			角田 泉 2		
					藤田しおり 3			御田 瑞香 3					
	チーム団体	男		1853.1	松尾 龍樹 3	長崎南	1831.5	東 太志郎 2	島原工業	1813.1	永峯 昂敏 3	長崎東	
		女		1853.4	入江保之美 2	長崎北	1829.9	末永 輝哉 2	長崎東	1805.5	三田村広星 3	長崎南	
水	50m自由	男	6/4	0:24.82	藤田慎太郎 3	佐世保高等	0:24.92	谷口 諒 3	長崎南山	0:25.33	瀬戸島大樹 3	長崎北	
	100m自由	男	6/5	0:54.10	谷口 諒 3	長崎南山	0:56.26	瀬戸島大樹 3	長崎北	0:56.30	原田 悠生 1	佐世保北	
	200m自由	男	6/4	1:57.22	染 拓實 3	長崎西	2:03.48	吉永 勤志 2	長崎南	2:04.20	原田 悠生 1	佐世保北	
	400m自由	男	6/5	4:09.46	染 拓實 3	長崎西	4:16.96	三根 智夢 3	諫早商業	4:23.09	中原 快吏 2	佐世保工業	
	1,500m自由	男	6/4	16:47.79	三根 智夢 3	諫早商業	17:01.85	中原 快吏 2	佐世保工業	17:46.87	森 天輝 2	大村工業	
	100m背	男	6/5	1:02.01	一瀬 稔太 1	長崎南山	1:04.98	戸上倫太郎 3	佐世保南	1:05.35	河本 輝佳 3	長崎工業	
	200m背	男	6/4	2:13.75	一瀬 稔太 1	長崎南山	2:18.90	戸上倫太郎 3	佐世保南	2:22.25	林田賢之丞 3	長崎工業	
	100m平	男	6/5	1:05.28	平松 七星 3	諫早商業	1:06.92	保利 瞬汰 3	大村	1:08.99	道上駿太郎 3	大村工業	
	200m平	男	6/4	2:22.22	保利 瞬汰 3	大村	2:22.85	平松 七星 3	諫早商業	2:27.77	道上駿太郎 3	大村工業	
	100mバタ	男	6/5	0:56.78	岩崎 基晴 2	九州文化	0:56.83	藤田慎太郎 3	佐世保高等	1:00.76	木下 善人 3	長崎北	
	200mバタ	男	6/4	2:08.91	岩崎 基晴 2	九州文化	2:15.19	関 銀士 2	佐世保南	2:19.35	木下 善人 3	長崎北	
	200m混メ	男	6/5	2:14.10	濱崎慎一郎 2	長崎北	2:19.01	野上 海斗 1	瑞浦	2:21.24	平川 陸人 2	長崎工業	
	400m混メ	男	6/4	4:46.91	濱崎慎一郎 2	長崎北	4:55.46	近藤 史基 3	佐世保高等	5:01.61	平川 陸人 2	長崎工業	
	400mリレ	男	6/4	3:47.03	中瀬 快吏 2	佐世保工業	3:47.40	平松 七星 3	諫早商業	3:48.55	一瀬 稔太 1	長崎南山	
					金丸晟之介 1			岩田 隼飛 1			大久保一心 1		
	800mリレ	男	6/5	8:18.95	藤田慎太郎 3	佐世保工業	8:32.34	江川 琉世 3	九州文化	8:32.93	武内 翔 2	長崎北	
					山下 琉輝 2			岩崎 基晴 2			崎谷 波琉 2		
	400mリレ	男	6/5	4:12.06	藤田慎太郎 3	長崎南山	4:13.21	里 直樹 2	諫早商業	4:16.44	岡本 啓希 3	佐世保工業	
					谷口 諒 3			平松 七星 3			金丸晟之介 1		
	泳	50m自由	女	6/4	0:27.15	榎並 蘭 2	九州文化	0:27.35	柿原 紫乃 3	長崎南	0:28.43	宮野 さくら 1	瑞浦
		100m自由	女	6/5	1:00.37	榎並 蘭 2	九州文化	1:00.52	柿原 紫乃 3	長崎南	1:02.62	井石 理七 3	佐世保南
		200m自由	女	6/4	2:12.42	才木 仁海 2	長崎商業	2:14.16	伊藤 叶優 3	九州文化	2:16.15	下田 梨々美 3	瑞浦
		400m自由	女	6/5	4:31.78	小串 優佳 2	九州文化	4:44.09	伊藤 叶優 3	九州文化	4:51.62	寺田 百花 3	諫早商業
		800m自由	女	6/4	9:35.61	小串 優佳 2	九州文化	9:53.92	寺田 百花 3	諫早商業	10:09.65	竹市 綾乃 1	佐世保西
		100m背	女	6/5	1:06.54	上野 日優 1	長崎西	1:08.46	山田 彩華 3	長崎北	1:11.24	古賀佑生奈 2	長崎北
		200m背	女	6/4	2:23.72	上野 日優 1	長崎西	2:25.74	山田 彩華 3	長崎北	2:35.89	古賀佑生奈 2	長崎北
		100m平	女	6/5	1:18.63	佐田さくら 2	諫早商業	1:21.78	坂西 礼 2	九州文化	1:22.16	野崎 友菜 3	長崎西
		200m平	女	6/4	2:48.81	佐田さくら 2	諫早商業	2:52.33	野崎 友菜 3	長崎西	2:59.18	高島 朱亜 3	長崎北
		100mバタ	女	6/5	1:04.86	才木 仁海 2	長崎商業	1:06.91	岩崎 瑞姫 1	九州文化	1:07.76	前川 光音 3	佐世保北
		200mバタ	女	6/4	2:27.94	岩崎 瑞姫 1	九州文化	2:31.80	河内 豊 2	長崎西	2:34.87	前川 光音 3	佐世保北
		200m混メ	女	6/5	2:28.48	下条 樹希 3	九州文化	2:35.98	小澤 侑莉 3	九州文化	2:39.28	江口 純歩 1	諫早商業
		400m混メ	女	6/4	5:14.64	下条 樹希 3	九州文化	5:35.43	小澤 侑莉 3	九州文化	5:50.19	中道 愛心 2	瑞浦
400mリレ		女	6/4	4:15.30	坂西 礼 2	九州文化	4:17.73	上野 日優 1	長崎西	4:20.44	江口 純歩 1	諫早商業	
					岩崎 瑞姫 1			川尾 結衣 2			中井 優里 1		
800mリレ		女	6/5	9:14.05	小串 優佳 2	九州文化	9:34.20	川尾 結衣 2	諫早商業	9:35.30	寺田 百花 3	長崎西	
				榎並 蘭 2			陳原 瑠璃 2			佐田さくら 2			
400mリレ	女	6/5	4:40.93	小串 優佳 2	九州文化	4:43.55	寺田 百花 3	長崎西	4:47.80	河内 豊 2	諫早商業		
				伊藤 叶優 3			淵上 紫月 3			山田 琉雅 1			

令和4年度（第74回）長崎県高等学校総合体育大会 個人優勝及び上位入賞者一覧

競技名	種目	性別	期日	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
				記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
空手道	組手	男	6/5	村野 颯太 3	環浦	石川 碧夕 2	環浦	福岡 大和 3	長崎日大	後藤 朋也 3	長崎日大	
		女		盛田 優月 3	佐世保北	江村 翠琴 2	環浦	迫田 珠奈 3	長崎日大	岩田 小春 3	環浦	
	形	男	6/4	破戸 峻佑 1	九州文化	橋口颯太郎 3	佐世保北	山下倫太郎 3	長崎東	中山 晃捷 3	長崎日大	
		女		盛田 優月 3	佐世保北	中村 美晴 2	九州文化	森永日菜子 2	純心女子	平野 菜月 3	佐世保北	
アーチェリー	個人	男女	6/5	赤瀬 龍世 2	大村工業	相川 成輝 2	大村工業	森響 聖人 2	大村工業	藤川 早希 3	大村工業	
カヌー	カヤックシングル	男女	6/5	2:26.59	松本 晋也 2	西陵	2:34.91	水島 颯太 3	長崎西	2:36.81	植松 颯太 3	長崎西
		2:53.96		鐘ヶ江愛華 3	西陵	2:56.85	馬渡 花歩 3	西陵	2:59.98	西岡 納菜 3	長崎西	
	カヤックペア	男		2:03.69	吉岡潔太郎 3	西陵	2:09.02	小原 舞音 2	西陵	2:10.83	林田 大誠 2	西陵
		女		2:31.46	松本 晋也 2	西陵	2:38.86	岸下 修人 2	西陵	2:40.75	山崎 海王 1	西陵
	カヤックトリプル	男		1:58.09	吉岡潔太郎 3	西陵	2:07.23	水島 颯太 3	長崎西	2:12.69	藤田 呼春 3	西陵
		女		2:15.84	松本 晋也 2	西陵	2:21.67	植松 颯太 3	長崎西	2:23.37	小西 航成 3	西陵
	カヌーダブル	男		2:46.61	古賀 晴香 3	西陵	2:52.73	内野 大雅 2	西陵	2:56.85	岩本 直也 2	西陵
	カヌークワッド	男		2:18.66	古賀 晴香 3	西陵	2:25.16	江崎 康史 3	長崎西	2:26.57	藤田 呼春 3	西陵
	カヌークワッド	男		2:18.69	内野 大雅 2	西陵	2:28.09	高橋 幸村 3	長崎西		永川 美咲 3	西陵
	カヌークワッド	男			園能寺直央 3			堀川 蓮叶 2			島浦 美優 3	
	カヌークワッド	男			前川 大和 2			甲村泰一朗 2			古賀 夏姫 2	
	カヌークワッド	男			松本 昂大 3	鹿町工業	11.11	田中 衛太 2	鹿町工業	11.71	森村 拓歩 3	佐世保工業
自転車	男子200mタイムトライアル	男	6/6	1:09.61	森村 拓歩 3	佐世保工業	1:10.12	田中 衛太 2	鹿町工業	1:11.77	足達健士郎 2	鹿町工業
	1kmタイムトライアル	男		松本 昂大 3	鹿町工業	田中 衛太 2	鹿町工業	江口 響葵 3	鹿町工業			
	スプリント	男		1:21.52	江口 響葵 3	鹿町工業						
	チームスプリント	男			田中 衛太 2	鹿町工業						
	4kmチームパーシュート	男		5:14.47	本村 皿 2	鹿町工業						
	ケイリン	男			足達健士郎 2							
	スクラッチ	男			田中 颯 2	鹿町工業						
	スクラッチ	男			西原 永晃 2							
なぎなた	個人試合	女	6/5	3:51.42	森村 拓歩 3	佐世保工業	3:53.05	足達健士郎 2	鹿町工業	4:04.97	西原 永晃 2	鹿町工業
		土本 結 3		松浦	前田 美月 3	松浦	中原志津佳 3	松浦				
	演技	女		成宮 百花 2	松浦	山口 紗愛 2	松浦	前田 美月・濱崎 明里 3.2	松浦	近藤 智奈・藤崎 菜萌 2.1	松浦	

令和4年度(第74回)長崎県高等学校総合体育大会 新記録一覧

NO	期日	競技名	性別	種目	氏名	学校名	学年	記録	大会 タイ	大会 新	県高 タイ	県高 新	県 タイ	県 新	備考
1	6/4	陸上	男	1500m	後田 築	成館	3	3:48.66		○					
2	6/4	陸上	男	1500m	東 秀 敏	浦	2	3:51.15		○					
3	6/4	陸上	男	走幅跳	藤 家 尚 平	長崎北陽台	3	7m40	○						
4	6/6	陸上	男	4×100m	橋本・高橋 植松・高遠	長崎南	2・3	41.08	○						
5	6/6	陸上	女	ハンマー投	竹村 紗奈	長崎女子	1	43m04		○					
6	6/7	陸上	男	200m	深山 創	加	3	21.32	○						
7	6/5	ウェイトリフティング	女	64kg級 C&J	坂本 泉 希	諫早農業	3	136kg (60/76)		○					
8	6/5	ウェイトリフティング	女	+64kg級 スナッチ・トータル	久松 和音	西彼農業	3	115kg (59/56)		○					
9	6/6	ライフル射撃	女	AR/Final	山口日菜佳	長崎東	2	242.0		○					
10	6/6	ライフル射撃	女	エア団体	山口日菜佳・川添 瞳子・鎌田しおり	長崎東	2・3	1801.5		○					
11	6/6	ライフル射撃	女	エア団体	山口日菜佳	長崎東	2	610.3		○					
12	6/6	ライフル射撃	女	チーム団体	入江保乃美・山崎 佳那子・宮川莉子	長崎北	2・2	1853.4		○					
13	6/6	ライフル射撃	女	チーム団体	山崎佳那子	長崎北	2	623.9		○					
14	6/6	ライフル射撃	男	BP/Final	西平 星 弥	長崎南	3	230.4		○					
15	6/6	ライフル射撃	男	BP/本選	内田 翼	長崎北	2	565		○		○			
16	6/6	ライフル射撃	男	BP/Final	内田 翼	長崎北	2	230.2		○					
17	6/6	ライフル射撃	男	AR/Final	森保 信輝	長崎東	2	242.8		○					
18	6/6	自転車	男	ライク200m タイムトライアル	松本 昂 大	鹿町工業	3	11秒03	○						
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
32															

令和4年度全国高等学校定時制通信制体育大会長崎県予選大会結果

令和4年6月12日(日) 会場:佐世保地区各高校

○バスケットボール(会場:佐世保工業高等学校 第1体育館)

	優勝	2位	3位	3位
男子	佐世保中央昼間部	佐世保中央夜間部	佐世保中央通信制	佐世保工業定時制

※男子:佐世保中央昼間部は2大会連続優勝

※女子 佐世保中央昼間部のみ参加 全国大会バスケットボール競技への出場が理事会にて承認された。

○卓球(会場:佐世保工業高等学校 第2体育館)

団体	優勝	2位	3位	3位
男子団体	佐世保中央昼間部	鳴滝通信制	鳴滝昼間部	佐世保中央通信制
女子団体	鳴滝通信制	佐世保中央通信制		
個人	優勝	2位	3位	4位
男子個人	山越一輝(こころ)	山本優人(佐中昼)	三木太智(鳴滝昼)	古家鷹誠(鳴滝昼)
女子個人	川内のか(こころ)	金子咲希(諫早定)	野田怜乃(鳴滝通)	福田春菜(佐中通)

※女子団体:鳴滝通信は3大会連続優勝

注:個人戦は全国大会出場順位をつけるため3位決定戦を実施

○バドミントン(会場:佐世保中央高等学校 体育館)

	優勝	2位	3位	3位
男子団体	佐世保中央通信制	佐世保中央夜間部	佐世保中央昼間部	鳴滝通信制
女子団体	こころ未来	鳴滝昼間部	佐世保中央夜間部	
男子個人	山口和希(佐中通)	竹口空来(佐中通)	平野稜真(こころ)	森永陸生(佐中夜)
女子個人	岩藤千花(こころ)	石堂由姫(佐中昼)	福田美月(佐中昼)	濱口実梨(鳴滝通)

※男子個人 犬塚健太(佐中通) 前回の全国大会ベスト8 = 別枠推薦選手として全国大会出場

※女子団体:こころ未来は2大会連続優勝

○バレーボール

※男子 鳴滝高校夜間部のみ参加 全国大会バレーボール競技への出場が理事会にて承認された。

※女子 参加校なし

○サッカー

※参加校なし

○軟式野球

※参加校なし

○その他

剣道

※男子個人 松山 翔(佐世保中央通信制)に全国大会剣道競技個人戦への出場が理事会にて承認された。

◎優勝校及び上位選手(網掛け)に全国高等学校定時制通信制体育大会の出場資格が与えられた。